10 参考資料

10.1 本調査で検討対象とする植物種の想定

本調査で対象とする地域性在来緑化植物種は、「地域性在来緑化植物の定義」を踏まえると、我が国に自然分布域を有している在来緑化植物種であることが前提となる。

また、本調査では、地域性在来緑化植物の安定的な供給体制の確立を目的としていることを前提とすると、緑化現場において多用されており、一定量の利用が想定される植物種が中心となる。

以上を踏まえ、本調査では以下の選定の考え方に基づき、対象となる標準的な植物種を表10.1に示す。

【選定の考え方】

■公共用緑化樹木等品質寸法規格基準（案）に掲載されており、今後標準的な生産・流通を期待する在来緑化植物種。
■法面緑化等において一般的に使用されている在来緑化植物種。

表 10.1 本調査で検討対象とする植物種の想定

№	樹　種	公共用緑化樹木等品質寸法規格基準（案）掲載種	一般的に使用されている在来緑化植物種	備　考
高木・針葉樹				
1	アカエゾマツ	●		
2	アカマツ	●	●	
3	イチイ	●		(ｵﾝｺ)
4	イヌマキ	●		
5	ウラジロモミ	●		
6	カラマツ	●		
7	クロマツ	●	●	
8	コウヤマキ	●		
9	サワラ	●		
10	スギ	●		
11	トドマツ	●		
12	ヒノキ	●		
高木・常緑広葉樹				
13	アラカシ	●		
14	イスノキ	●		
15	ウバメガシ	●		
16	ウラジロガシ	●		
17	カクレミノ	●		
18	クロガネモチ	●		
19	サザンカ	●		
20	サンゴジュ	●		
21	シマトネリコ	●		沖縄のみ
22	シラカシ	●		
23	スダジイ	●		
24	ソヨゴ	●		
25	タブノキ	●		
26	ツブラジイ	●		
27	トキワマンサク	●		

№	樹　種	公共用緑化樹木等品質寸法規格基準（案）掲載種	一般的に使用されている在来緑化植物種	備　考
28	ネズミモチ	●		
29	ヒイラギ	●		
30	ヒメユズリハ	●		
31	ホルトノキ	●		
32	マテバシイ	●		
33	モチノキ	●		
34	モッコク	●		
35	ヤブツバキ	●		(ﾔﾏﾂﾊﾞｷ)
36	ヤブニッケイ	●		
37	ヤマモモ	●		
38	ユズリハ	●		
高木・落葉広葉樹				
39	アカシデ	●		
40	アキニレ	●		
41	イタヤカエデ	●		
42	イヌシデ	●		
43	イロハモミジ	●		
44	ウメモドキ	●		
45	エゴノキ	●		
46	エノキ	●		
47	オオシマザクラ	●		
48	オオヤマザクラ	●		(ｴｿﾞﾔﾏｻﾞｸﾗ)
49	カシワ	●		
50	カツラ	●		
51	クヌギ	●		
52	ケヤキ	●		
53	コナラ	●		
54	コブシ	●		
55	シラカンバ	●		
56	トチノキ	●		
57	ナツツバキ	●		
58	ナナカマド	●		
59	ネムノキ	●		
60	ハマボウ	●		
61	ハルニレ	●		
62	ヒメシャラ	●		
63	ヒメヤシャブシ		●	
64	ブナ	●		
65	ホオノキ	●		
66	マユミ	●		
67	マンサク	●		
68	ミズナラ	●		
69	ムクノキ	●		
70	ヤシャブシ	●	●	
71	ヤマザクラ	●		
72	ヤマハンノキ	●	●	
73	ヤマボウシ	●		
74	ヤマモミジ	●		
低木・常緑樹				

№	樹　種	公共用緑化樹木等品質寸法規格基準（案）掲載種	一般的に使用されている在来緑化植物種	備　考
75	アオキ	●		
76	アセビ	●		
77	イヌツゲ	●		
78	エゾムラサキツツジ	●		
79	クチナシ	●		
80	シャリンバイ	●		
81	トベラ	●		
82	ナワシログミ	●		
83	ハマヒサカキ	●		
84	マサキ	●		
85	ヤマツツジ	●		
低木・落葉樹				
86	アキグミ	●		
87	ウツギ（ｳﾉﾊﾅ）	●		
88	ガクアジサイ	●		
89	ガマズミ	●		
90	コムラサキ	●		(ｺﾑﾗｻｷｼｷﾌﾞ)
91	シモツケ	●		
92	タニウツギ	●		
93	ドウダンツツジ	●		
94	トサミズキ	●		
95	ニシシギ	●		
96	ネコヤナギ	●		
97	ハコネウツギ	●		
98	ハマナス	●		
99	ヒュウガミズキ	●		
100	ミツバツツジ	●		
101	ヤマハギ		●	
102	ユキヤナギ	●		
103	レンゲツツジ	●		
草本				
104	イタドリ		●	
105	コマツナギ		●	
106	シバ		●	(ﾉｼﾊﾞ)
107	ススキ		●	
108	チガヤ		●	
109	メドハギ		●	
110	ヤマブキ	●		
111	ヨモギ		●	

10.2 アンケート調査の実施概要

10.2.1 国立公園等を対象とした実施概要

(1) 目的

本調査は、国立公園及び国定公園内で自然公園等事業により実施した緑化工事における地域性在来緑化植物の使用状況や調達方法に関する情報、今後、円滑な地域性在来緑化植物材料の調達等にとって必要な情報等を把握するために実施した。

(2) 本調査における「地域性緑化植物」の定義

ここで用いる「地域性在来緑化植物」は、便宜的に当該緑化地が含まれる都道府県内に自然分布しており、生育している植物をもとに採取・生産され、供給される緑化材料（木本及び草本、種子及び苗、根株等）とする。具体的には、「○○県産のクヌギ」として生産されたものや、近隣の山林・原野等から山採りにより供給された緑化材料などが対象となる。

なお、現状では「地域性在来緑化植物」という用語は一般的ではないことから、これに類する用語としてある「地域性種苗[1]」の定義を参考として以下に示す。

■地域性種苗の定義（参考）

地域性系統（※1）をベースに生産された種苗。当面、市町村より下位の地域スケールで原産地が特定され、生産経過が明らかな種苗のみを認める。従来、「郷土産郷土種」と呼ばれていたものはこれにあたる。

※1 地域性系統：自生種（※2）のうち、ある地域の遺伝子プールを共有する系統。遺伝型とともに、形態や生理的特性などの表現型や生態的地位にも類似性・同一性が認められる集団をさす。

※2自　生　種：自然分布している範囲内に分布する種、亜種又はそれ以下の分類群をさす。

(3) 対象

国立公園及び国定公園内で自然公園等事業（国立公園整備事業・国定公園整備事業）により実施した緑化工事を対象とした。

[1]日本緑化工学会（2002）生物多様性保全のための緑化植物の取り扱い方に関する提言（http://www.biodic.go.jp/cbd/opinion/greensi.pdf#search='生物多様性保全のための緑化植物の取り扱い方に関する提言%20PDF'）の2～3ページ

(4) 調査の進め方

本調査のフローを以下に示す。

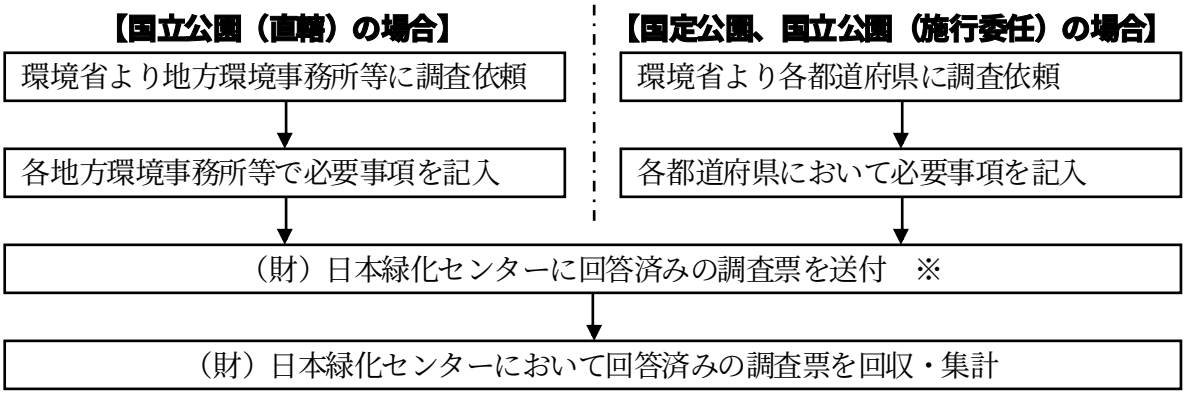

図 10.1 アンケート調査のフロー

(5) 調査概要

地域性緑化植物需要量に係る情報収集では、国立公園及び国定公園内で自然公園等事業（国立公園整備事業・国定公園整備事業）により実施した緑化工事を対象に、「A平成14～18年度における地域性在来緑化植物の使用実績」及び「B地域性在来緑化植物の使用に関する今後の予定及び調達上の問題点・要望」に関する調査を実施した。

1) 平成14～18 年度における地域性緑化植物の使用実績

平成14～18 年度における地域性緑化植物の使用実績については、実施した植栽工事ごとに以下の設問を設定した。

表 2 使用実績調査設問内容

設　問	内　容
①緑化工事名	平成14～18年度において地域性在来緑化植物を発注条件等として指定し、使用した緑化工事がある場合は、その工事名等を記入してください。地域性在来緑化植物を使用した緑化工事がない場合は“なし”と記入し、②～⑫の設問には回答いただかなくて結構です。
②当該緑化工事の実施年度	①で回答した緑化工事の実施年度を記入してください。
③当該緑化工事を実施した公園名	①で回答した緑化工事を実施した公園名を記入してください。
④当該緑化工事を実施した場所	①で回答した緑化工事を実施した場所の都道府県名及び市町村名を記入してください。
⑤当該緑化工事を実施した場所の地種区分	①で回答した緑化工事を実施した場所の地種区分について該当する地種を以下から選択し、該当番号（1～5）を記入してください。 1：特別保護地区 2：第1種特別地域 3：第2種特別地域 4：第3種特別地域 5：普通地域
⑥当該緑化工事の目的	①で回答した緑化工事ごとに、該当する目的を以下から選択し、該当番号（1～5）を記入してください。なお、複数該当する場合には、代表的なものを1つ選択してください。 1：自然再生・復元 2：修景 3：法面緑化 4：緩衝緑化 5：その他
⑦当該緑化工事の概要	①で回答した緑化工事ごとに、緑化の概要を記入してください。
⑧当該緑化工事における緑化面積	①で回答した緑化工事における緑化面積（㎡）を記入してください。
⑨使用した地域性在来緑化植物種名及び数量	①で回答した緑化工事ごとに、使用した地域性在来緑化植物種名及び使用種ごとの数量を記入してください。
⑩使用種ごとの導入形態	⑨で回答した使用種ごとに該当する導入形態を以下から選択し、該当する番号（1～4）を記入してください。 1：苗 2：種子 3：根株 4：その他
⑪使用植物の入手にあたって設定した条件	⑨で回答した使用種ごとに、その入手にあたって特記仕様書等で設定した条件（種子等の採取地等）を記入してください。

設　問	内　容
⑫使用植物ごとの調達方法	⑨で回答した使用種ごとに該当する調達方法を以下から選択し、該当番号（1～5）を記入してください。 1：委託生産により調達 2：公園外から自前で調達 3：公園内から自前で調達 4：市場に流通しているものを購入 5：その他

2) 地域性緑化植物の使用に関する今後の予定及び調達上の問題点・要望

地域性緑化植物の使用や調達上の問題点・要望については、①地域性緑化植物の使用に関する今後の予定、②地域性緑化植物の調達上の問題点、③地域性緑化植物の供給・調達に係る要望について尋ねた。

表 3　問題点・要望に関する設問内容

設　問	内　容
①地域性在来緑化植物の使用に関する今後の予定	今後実施しようとする緑化事業における地域性在来緑化植物の使用に関する意向について、以下の項目から選択し、該当する番号（1～4）を記入してください（1つ）。また、「1：十分な供給があればこれまで以上に使用していく予定」を回答した場合で、具体的な内容が記述できる場合は、その数量等を調査票2の「具体的な内容」欄に簡潔に記入してください。 1：十分な供給があればこれまで以上に使用していく予定 2：これまでと同水準で使用していく予定 3：積極的に使用しない予定 4：その他
②地域性在来緑化植物の調達上の問題点	現状において地域性在来緑化植物を使用したり、調達したりする際に困っていることや改善すべきこと等について、以下の項目から選択し、該当する場合には“○”を記入してください（複数回答可）。 1：地域性在来緑化植物の生産情報が不明なため設計や確実な工事実施に支障がある 2：種子の発芽や苗木の活着に不安があるため使用しにくい 3：一般の緑化材料に比べ高コストである 4：供給される植物が当該地域固有の遺伝情報を有しているか否か不明である 5：使用したい地域性在来緑化植物種の数量が十分に確保できない 6：その他（その他の場合は、問題点を調査票2の「その他の問題点」欄に簡潔に記入してください）
③地域性在来緑化植物の供給･調達に係る要望	地域性在来緑化植物の供給や調達に際しての要望等があれば自由に記入してください（自由回答）。

10.2.2 公園緑地を対象とした実施概要

(1) 目的

本調査は、公園緑地内の植栽工事等における地域性在来緑化植物の使用状況や調達方法に関する情報、円滑な地域性在来緑化植物材料の調達等にとって必要な情報等を把握するために実施した。

(2) 本調査における「地域性在来緑化植物」の定義

「地域性在来緑化植物」は、一般的な用語として定着していないことから、調査実施にあたり、需要量に係る調査に用いる「地域性在来緑化植物」を検討する。

ここで用いる「地域性在来緑化植物」は、便宜的に当該緑化地が含まれる都道府県内に自然分布しており、生育している植物をもとに採取・生産され、供給される緑化材料（木本及び草本、種子及び苗、根株等）とする。具体的には、「○○県産のクヌギ」として生産されたものや、近隣の山林・原野等から山採りにより供給された緑化材料などが対象となる。

なお、現状では「地域性在来緑化植物」という用語は一般的ではないことから、これに類する用語としてある「地域性種苗[2]」の定義を参考として以下に示す。

■地域性種苗の定義（参考）

地域性系統（※1）をベースに生産された種苗。当面、市町村より下位の地域スケールで原産地が特定され、生産経過が明らかな種苗のみを認める。従来、「郷土産郷土種」と呼ばれていたものはこれにあたる。

※1 地域性系統：自生種（※2）のうち、ある地域の遺伝子プールを共有する系統。遺伝型とともに、形態や生理的特性などの表現型や生態的地位にも類似性・同一性が認められる集団をさす。

※2自　生　種：自然分布している範囲内に分布する種、亜種又はそれ以下の分類群をさす。

(3) 対象

本調査は、以下に示す公園緑地を対象として、平成14～18年度の間に上述の「地域性在来緑化植物」を使用した緑化工事等を対象として実施した。

- 全国営公園
- 都道府県及び政令指定都市が設置する 10ha 以上の都市公園

[2] 日本緑化工学会（2002）生物多様性保全のための緑化植物の取り扱い方に関する提言（http://www.biodic.go.jp/cbd/opinion/greensi.pdf#search='生物多様性保全のための緑化植物の取り扱い方に関する提言%20PDF'）の2～3 ページ

(4) 調査の進め方

本調査のフローを図 10.2に示す。

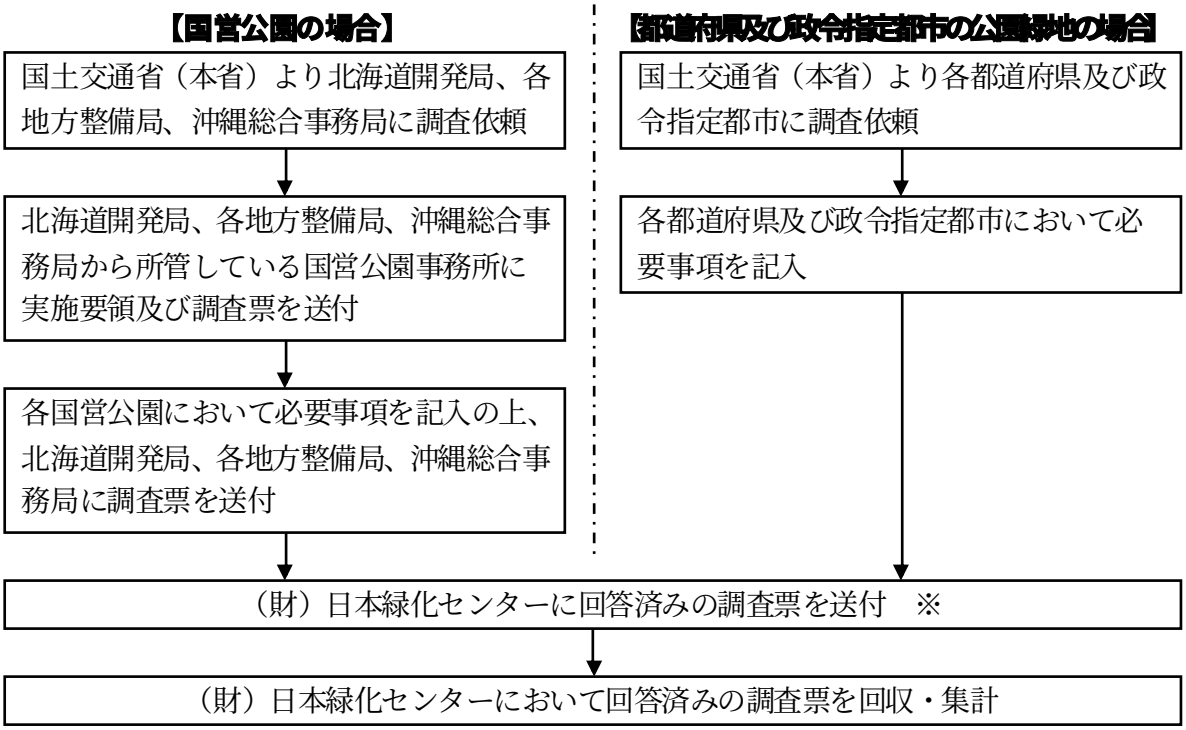

図 10.2 アンケート調査のフロー

(5) 調査概要

地域性在来緑化植物需要量に係る情報収集では、国営公園、都道府県及び政令市が設置等している公園緑地等を対象に、「①平成14～18年度における地域性在来緑化植物の使用実績」及び「②地域性在来緑化植物の使用に関する今後の予定及び調達上の問題点・要望」に関する調査を実施した。

1) 平成14～18 年度における地域性在来緑化植物の使用実績

平成14～18 年度における地域性在来緑化植物の使用実績については、実施した植栽工事ごとに表 10.4に示す設問を設定した。

表 10.4 使用実績調査設問内容

設　問	内　容
①植栽工事名	平成14～18 年度において地域性在来緑化植物を使用した緑化工事がある場合は、その工事名等を記入してください。
②当該植栽工事の実施年度	①で回答した植栽工事の実施年度を記入してください。
③当該植栽工事を実施した公園緑地名	①で回答した植栽工事を実施した公園緑地名を記入してください。
④当該植栽工事を実施した場所	①で回答した植栽工事を実施した都道府県名及び市町村名を記入してください。
⑤当該植栽工事の目的	①で回答した植栽工事ごとに、該当する目的を以下から選択し、該当番号（1～5）を記入してください。なお、複数該当する場合には、代表的なものを1 つ選択してください。 1：自然再生・復元 2：修景 3：法面緑化 4：緩衝緑化 5：その他
⑥当該植栽工事の概要	①で回答した植栽工事ごとに、緑化の概要を記入してください。
⑦当該植栽工事における緑化面積	①で回答した植栽工事における緑化面積（㎡）を記入してください
⑧使用した地域性在来緑化植物種名及び数量	①で回答した植栽工事ごとに、使用した地域性在来緑化植物種名及び使用種ごとの数量を記入してください。
⑨使用種ごとの導入形態	⑧で回答した使用種ごとに該当する導入形態を以下から選択し、該当する番号（1～4）を記入してください。 1：苗 2：種 3：根株 4：その他
⑩使用植物の入手にあたって設定した条件	⑧で回答した使用種ごとに、その入手にあたって特記仕様書等で設定した条件（種子等の採取地等）を記入してください。
⑪使用植物ごとの調達方法	⑧で回答した使用種ごとに該当する調達方法を以下から選択し、該当番号（1～5）を記入してください。 1：委託生産により調達 2：公園緑地外から自前で調達 3：公園緑地内から自前で調達 4：市場に流通しているものを購入 5：その他

2) 地域性在来緑化植物の使用に関する今後の予定及び調達上の問題点・要望

地域性在来緑化植物の使用や調達上の問題点・要望については、表 10.5に示すように①地域性在来緑化植物の使用に関する今後の予定、②地域性在来緑化植物の調達上の問題点、③地域性在来緑化植物の供給・調達に係る要望について尋ねた。

表 10.5 問題点・要望に関する設問内容

設　問	内　容
①地域性在来緑化植物の使用に関する今後の予定	今後実施しようとする緑化事業における地域性在来緑化植物の使用に関する意向について、以下の項目から選択し、該当する番号（1～4）を記入してください（1 つ）。また、「1：十分な供給があればこれまで以上に使用していく予定」を回答した場合で、具体的な内容が記述できる場合は、その数量等を調査票2 の「具体的な内容」欄に簡潔に記入してください。 1：十分な供給があればこれまで以上に使用していく予定 2：これまでと同水準で使用していく予定 3：積極的に使用しない予定 4：その他
②地域性在来緑化植物の調達上の問題点	現状において地域性在来緑化植物を使用したり、調達したりする際に困っていることや改善すべきこと等について、以下の項目から選択し、該当する場合には“○”を記入してください（複数回答可）。 1：地域性在来緑化植物の生産情報が不明なため設計や確実な工事実施に支障がある 2：種子の発芽や苗木の活着に不安があるため使用しにくい 3：一般の緑化材料に比べ高コストである 4：供給される植物が当該地域固有の遺伝情報を有しているか否か不明である 5：使用したい地域性在来緑化植物種の数量が十分に確保できない 6：その他
③ 地域性在来緑化植物の供給･調達に係る要望	地域性在来緑化植物の供給や調達に際しての要望等があれば自由に記入 してください（自由回答）。

10.3　アンケート調査結果

10.3.1 国立公園等の結果

都道府県/環境事務所名　北海道

工事件名　洞爺湖園地工事

実施年度　18 年度
公園名　支笏洞爺国立公園
実施場所　北海道　洞爺湖町
地種区分　3
目的　2
概要　自然公園内の植樹であることから、北海道内に自生する樹木を選定し、緑化を行った
緑化面積　0 ㎡

使用植物種

植物種名	数量	単位	導入形態	入手条件	調達方法	その他の方法
トドマツ	10	本	1	なし	4	0
エゾヤマツツジ	275	本	1	なし	4	0

工事件名　支笏湖園地工事

実施年度　17 年度
公園名　支笏洞爺国立公園
実施場所　北海道　名寄市
地種区分　3
目的　2
概要　自然公園内の植樹であることから、北海道内に自生する樹木を選定し、緑化を行った
緑化面積　0 ㎡

使用植物種

植物種名	数量	単位	導入形態	入手条件	調達方法	その他の方法
イチイ	14	本	1	なし	4	0
エゾヤマツツジ	135	本	1	なし	4	0

工事件名　支笏湖園地工事

実施年度　16 年度
公園名　支笏洞爺国立公園
実施場所　北海道　千歳市
地種区分　3
目的　2
概要　自然公園内の植樹であることから、北海道内に自生する樹木を選定し、緑化を行った
緑化面積　0 ㎡

使用植物種

植物種名	数量	単位	導入形態	入手条件	調達方法	その他の方法
イチイ	6	本	1	なし	4	0
ニシキギ	5	本	1	なし	4	0
エゾヤマツツジ	170	本	1	なし	4	0
フッキソウ	467	㎡	1	なし	?	不明

工事件名　塘路博物展示施設周辺整備工事

実施年度　16 年度
公園名　釧路湿原国立公園
実施場所　北海道　標茶町
地種区分　3
目的　2
概要　自然公園内の植樹であることから、北海道内に自生する樹木を選定し、緑化を行った
緑化面積　0 ㎡

使用植物種

植物種名	数量	単位	導入形態	入手条件	調達方法	その他の方法
エゾヤマツツジ	34	本	1	なし	4	0
オオバヤナギ	5	本	1	なし	4	0
シカカバ	3	本	1	なし	4	0

工事件名　　**洞爺湖園地工事**

実施年度　　16 年度
公園名　　支笏洞爺国立公園
実施場所　　北海道　洞爺湖町
地種区分　　3
目的　　2
概要　　自然公園内の植樹であることから、北海道内に自生する樹木を選定し、緑化を行った
緑化面積　　0 ㎡

使用植物種

植物種名	数量	単位	導入形態	入手条件	調達方法	その他の方法
イタタカエデ	2	本	1	なし	4	0
イタタカエデ	23	本	1	なし	4	0
エゾヤマザクラ	15	本	1	なし	4	0
カツラ	5	本	1	なし	4	0
ナナカマド	8	本	1	なし	4	0
ミズナラ	9	本	1	なし	4	0
キタコブシ	5	本	1	なし	4	0
ハクウンボク	10	本	1	なし	4	0
ヤマモミジ	10	本	1	なし	4	0
アズキナシ	18	本	1	なし	4	0
イタタカエデ	16	本	1	なし	4	0
イチイ	11	本	1	なし	4	0
エゾヤマザクラ	15	本	1	なし	4	0
カツラ	23	本	1	なし	4	0
キタコブシ	6	本	1	なし	4	0
ケヤマハンノキ	6	本	1	なし	4	0
シナノキ	16	本	1	なし	4	0
シラカバ	5	本	1	なし	4	0
ツリバナ	20	本	1	なし	4	0
トチノキ	23	本	1	なし	4	0
トドマツ	10	本	1	なし	4	0
ドロノキ	6	本	1	なし	4	0
ナナカマド	4	本	1	なし	4	0
ミズナラ	16	本	1	なし	4	0
ヤマモミジ	4	本	1	なし	4	0
イヌコリヤナギ	14	ポット	1	なし	4	0
ケヤマハンノキ	6	本	1	なし	4	0
シラカバ	5	ポット	1	なし	4	0
ドロノキ	6	本	1	なし	4	0
エゾアジサイ	120	本	1	なし	4	0
クマザサ	4938	ポット	1	不明	4	0

工事件名 白浜野営場整備工事

実施年度 16 年度
公園名 0
実施場所 北海道　羽幌町
地種区分 4
目的 2
概要 自然公園内の植樹であることから、北海道内に自生する樹木を選定し、緑化を行った
緑化面積 0 ㎡

使用植物種

植物種名	数量	単位	導入形態	入手条件	調達方法	その他の方法
ミズナラ	36	本	1	なし	4	0

工事件名 支笏湖園地工事

実施年度 14 年度
公園名 支笏洞爺国立公園
実施場所 北海道　千歳市
地種区分 3
目的 2
概要 自然公園内の植樹であることから、北海道内に自生する樹木を選定し、緑化を行った
緑化面積 0 ㎡

使用植物種

植物種名	数量	単位	導入形態	入手条件	調達方法	その他の方法
ハルニレ	6	本	1	なし	4	0
エゾヤマザクラ	9	本	1	なし	4	0
ナナカマド	1	本	1	なし	4	0
ヤマモミジ	6	本	1	なし	4	0
イタタカエデ	3	本	1	なし	4	0
エゾヤマツツジ	100	本	1	なし	4	0
エゾムラサキツツジ	40	本	1	なし	4	0

都道府県/環境事務所名 宮城県

工事件名 金華山島植生復元施設整備工事

実施年度 17 年度
公園名 南三陸金華山国定公園
実施場所 宮城県　石巻市
地種区分 1
目的 1
概要 鹿の食害から植生を保護，かつ復元を図るための防鹿柵を設置し，その柵内にブナ，イヌシデを植栽したもの。苗木は，現地採取した種子から養成している。
緑化面積 20000 ㎡

使用植物種

植物種名	数量	単位	導入形態	入手条件	調達方法	その他の方法
ブナ，イヌシデ	300	本	1	原生林から種子を自前で採取したものを苗木に養成している。	5	苗木養成については県林業試験場において実施。

都道府県/環境事務署名　富山県

工事件名　生活環境文化部自然保護課

実施年度　14 年度
公園名　中部山岳国立公園
実施場所　富山県　大山町
地種区分　2
目的　1
概要　登山道（折立太郎山線）において、登山者の踏み荒らしによる荒廃地を復元するため、現地で採取した高山植物の種子を用いて緑化を行った。
緑化面積　###### ㎡

使用植物種

植物種名	数量	単位	導入形態	入手条件	調達方法	その他の方法
ﾋｹﾞﾉｶﾘﾔｽ、ﾇﾏｶﾔ、ｲﾜｼｮｳﾌﾞ、ﾔﾏﾊﾊｺ、ﾀｶﾈﾖﾓｷﾞ、ｳﾗｼﾞﾛﾀﾃﾞ	11.67	kg	2	緑化工に使用する植物種子は、現場周辺（薬師平・太郎平・太郎山）にて種子を採取する。	3	0

工事件名　生活環境文化部自然保護課

実施年度　16 年度
公園名　中部山岳国立公園
実施場所　富山県　大山町
地種区分　2
目的　1
概要　登山道（折立太郎山線）において、登山者の踏み荒らしによる荒廃地を復元するため、現地で採取した高山植物の種子を用いて緑化を行った。
緑化面積　###### ㎡

使用植物種

植物種名	数量	単位	導入形態	入手条件	調達方法	その他の方法
ﾋｹﾞﾉｶﾘﾔｽ、ﾇﾏｶﾔ、ｲﾜｼｮｳﾌﾞ、ﾔﾏﾊﾊｺ、ﾀｶﾈﾖﾓｷﾞ、ｳﾗｼﾞﾛﾀﾃﾞ	14.8	kg	2	緑化工に使用する植物種子は、現場周辺（薬師平・太郎平・太郎山）にて種子を採取する。	3	0

都道府県/環境事務署名　三重県

工事件名　自然公園等整備事業

実施年度　15 年度
公園名　室生赤目青山国定公園
実施場所　三重県　松阪市飯高町
地種区分　2
目的　2
概要　当該地は、室生赤目青山国定公園の南部に位置し、豊かな自然植生と明歴年間に建立された泰運寺が良好な自然景観を創出している。また、近畿自然歩道も園地内を横断しており毎年多くの入り込み者があり、自然にふれあう機会を増やすためにも多数の植栽を用いて緑化を行った。
緑化面積　400 ㎡

使用植物種

植物種名	数量	単位	導入形態	入手条件	調達方法	その他の方法
イロハモミジ	17	本	1	県内で生産したもの	4	0
ヤマボウシ	10	本	1	県内で生産したもの	4	0
ドウダンツツジ	133	本	1	県内で生産したもの	4	0

都道府県/環境事務署名　広島県

工事件名　瀬戸内海国立公園宮島公衆トイレ付帯工事

実施年度　15 年度
公園名　瀬戸内海国立公園
実施場所　広島県　廿日市市
地種区分　3
目的　2
概要　トイレ工事に伴い，損傷する樹木を園地修景のために移植した。
緑化面積　20 ㎡

使用植物種

植物種名	数量	単位	導入形態	入手条件	調達方法	その他の方法
サクラ	2	本	3	なし	3	0
アセビ	4	本	3	なし	3	0

都道府県/環境事務署名　愛媛県

工事件名　(県単) 自然公園施設災害復旧工事

実施年度　18 年度
公園名　瀬戸内海国立公園
実施場所　愛媛県　今治市
地種区分　3
目的　3
概要　集中豪雨により崩壊した法面の緑化のため、現地で種子を採取して植生基材吹付工（ﾏｻﾞｰｿｲﾙ工法）
緑化面積　100 ㎡

使用植物種

植物種名	数量	単位	導入形態	入手条件	調達方法	その他の方法
埋土種子集団(シードバンク)	0	0	0	0	0	0
埋土種子集団(シードバンク)	0	0	0	0	0	0

都道府県/環境事務署名　佐賀県

工事件名　キャンプ場整備

実施年度　18 年度
公園名　玄海国定公園
実施場所　佐賀県　唐津市
地種区分　3
目的　2
概要　民家の庭先風にするため、一般的に庭木として用いられる植栽を選定。高木は常緑高木、その下は耐陰性のあるものを選定
緑化面積　4700 ㎡

使用植物種

植物種名	数量	単位	導入形態	入手条件	調達方法	その他の方法
ハコネウツギ	85	株	1	なし	4	0
ヤマブキ	85	株	1	なし	4	0
ヒラドツツジ	203	本	1	なし	4	0
サザンカ	144	本	1	なし	4	0
高木移植	13	本	4	現場の樹形や樹勢に応じて対象樹木や配置を調整する	3	0
シバ(張りシバ)	4412	㎡	1	野芝（在来種）	4	0
植生シート	220	㎡	2	なし	4	0

工事件名　駐車場改修

実施年度　18 年度
公園名　玄海国定公園
実施場所　佐賀県　唐津市
地種区分　3
目的　2
概要　民家の庭先風にするため、一般的に庭木として用いられる植栽を選定，高木は常緑高木、その下は耐陰性のあるものを選定
緑化面積　70 ㎡

使用植物種

植物種名	数量	単位	導入形態	入手条件	調達方法	その他の方法
植生シート	70	㎡	2	環境品･肥料袋付	4	0

工事件名　コテージ周辺整備

実施年度　17 年度
公園名　玄海国定公園
実施場所　佐賀県　唐津市
地種区分　3
目的　2
概要　民家の庭先風にするため、一般的に庭木として用いられる植栽を選定。高木は常緑高木、その下は耐陰性のあるものを選定
緑化面積　920 ㎡

使用植物種

植物種名	数量	単位	導入形態	入手条件	調達方法	その他の方法
植生マット	194	㎡	2	種子は日本芝とする	4	0
種子吹付け	377	㎡	2	種子は日本芝とする	4	0
張芝工	350	㎡	2	種子は日本芝とする	4	0

工事件名　　**バリアフリーコテージ造園**

実施年度　16 年度
公園名　玄海国定公園
実施場所　佐賀県　唐津市
地種区分　3
目的　2
概要　民家の庭先風にするため、一般的に庭木として用いられる植栽を選定。高木は常緑高木、その下は耐陰性のあるものを選定
緑化面積　500 ㎡

使用植物種

植物種名	数量	単位	導入形態	入手条件	調達方法	その他の方法
タブノキ	1	本	1	樹形について、民家の庭先をイメージしていることから、庭木に近い形状の樹木とする。	4	0
モチノキ	3	本	1	樹形について、民家の庭先をイメージしていることから、庭木に近い形状の樹木とする。	4	0
スダジイ	2	本	1	樹形について、民家の庭先をイメージしていることから、庭木に近い形状の樹木とする。	4	0
マテバシイ	3	本	1	樹形について、民家の庭先をイメージしていることから、庭木に近い形状の樹木とする。	4	0
ヤマモモ	3	本	1	樹形について、民家の庭先をイメージしていることから、庭木に近い形状の樹木とする。	4	0
ウバメガシ	4	本	1	樹形について、民家の庭先をイメージしていることから、庭木に近い形状の樹木とする。	4	0
ネムノキ	2	本	1	樹形について、民家の庭先をイメージしていることから、庭木に近い形状の樹木とする。	4	0
アラカシ	14	本	1	樹形について、民家の庭先をイメージしていることから、庭木に近い形状の樹木とする。	4	0
ナンテン	7	本	1	樹形について、民家の庭先をイメージしていることから、庭木に近い形状の樹木とする。	4	0
ウグイスカグラ	6	本	1	樹形について、民家の庭先をイメージしていることから、庭木に近い形状の樹木とする。	4	0
ムラサキシキブ	7	本	1	樹形について、民家の庭先をイメージしていることから、庭木に近い形状の樹木とする。	4	0
レンギョウ	284	本	1	樹形について、民家の庭先をイメージしていることから、庭木に近い形状の樹木とする。	4	0
ハマヒサカキ	359	本	1	樹形について、民家の庭先をイメージしていることから、庭木に近い形状の樹木とする。	4	0
ナワシログミ	284	本	1	樹形について、民家の庭先をイメージしていることから、庭木に近い形状の樹木とする。	4	0
ヤマブキ	75	本	1	樹形について、民家の庭先をイメージしていることから、庭木に近い形状の樹木とする。	4	0
マルバシャリンバイ	75	本	1	樹形について、民家の庭先をイメージしていることから、庭木に近い形状の樹木とする。	4	0

工事件名　　**自然体験ハウス造園**

実施年度　16 年度
公園名　玄海国定公園
実施場所　佐賀県　唐津市
地種区分　3
目的　2
概要　民家の庭先風にするため、一般的に庭木として用いられる植栽を選定。高木は常緑高木、その下は耐陰性のあるものを選定
緑化面積　430 ㎡

使用植物種

植物種名	数量	単位	導入形態	入手条件	調達方法	その他の方法
クスノキ	1	本	1	樹形について、民家の庭先をイメージしていることから、庭木に近い形状の樹木とする。	4	0
タブノキ	1	本	1	樹形について、民家の庭先をイメージしていることから、庭木に近い形状の樹木とする。	4	0
アコウ	2	本	1	樹形について、民家の庭先をイメージしていることから、庭木に近い形状の樹木とする。	4	0
マテバシイ	2	本	1	樹形について、民家の庭先をイメージしていることから、庭木に近い形状の樹木とする。	4	0
ヤマモモ	2	本	1	樹形について、民家の庭先をイメージしていることから、庭木に近い形状の樹木とする。	4	0
ウバメガシ	1	本	1	樹形について、民家の庭先をイメージしていることから、庭木に近い形状の樹木とする。	4	0
アラカシ	47	本	1	樹形について、民家の庭先をイメージしていることから、庭木に近い形状の樹木とする。	4	0
レンギョウ	305	本	1	樹形について、民家の庭先をイメージしていることから、庭木に近い形状の樹木とする。	4	0
ハマボウ	305	本	1	樹形について、民家の庭先をイメージしていることから、庭木に近い形状の樹木とする。	4	0
ジンチョウゲ	305	本	1	樹形について、民家の庭先をイメージしていることから、庭木に近い形状の樹木とする。	4	0
ナワシログミ	70	本	1	樹形について、民家の庭先をイメージしていることから、庭木に近い形状の樹木とする。	4	0
マルバシャリンバイ	50	本	1	樹形について、民家の庭先をイメージしていることから、庭木に近い形状の樹木とする。	4	0
ハマゴウ	50	本	1	樹形について、民家の庭先をイメージしていることから、庭木に近い形状の樹木とする。	4	0
リュウノヒゲ	245	鉢	1	樹形について、民家の庭先をイメージしていることから、庭木に近い形状の樹木とする。	4	0
ツワブキ	60	鉢	1	樹形について、民家の庭先をイメージしていることから、庭木に近い形状の樹木とする。	4	0
張芝	230	㎡	1	野芝（在来種）	4	0

都道府県/環境事務署名　宮崎県

工事件名　下阿蘇広場整備

実施年度　17 年度
公園名　日豊海岸国定公園
実施場所　宮崎県　延岡市
地種区分　3
目的　2
概要　公園内や隣接地で植生している植物により、公園内の整備とともに、修景のための緑化を行った。
緑化面積　32 ㎡

使用植物種

植物種名	数量	単位	導入形態	入手条件	調達方法	その他の方法
ハマヒサカキ	160	本	1	なし	4	0
ウバメガシ	117	本	1	なし	4	0

都道府県/環境事務署名　東北地方環境事務所

工事件名　酸ヶ湯野営場工事(造成工事)

実施年度　17 年度
公園名　十和田八幡平国立公園
実施場所　青森県　青森市
地種区分　2
目的　5
概要　テントサイト造成のため、地域性在来植物による張芝を行った。
緑化面積　11628 ㎡

使用植物種

植物種名	数量	単位	導入形態	入手条件	調達方法	その他の方法
ノシバ	11628	m2	1	当該地域周辺で生産されたものを使用すること	4	0

都道府県/環境事務署名　九州地方環境事務所

工事件名　雲仙普賢岳ノ池園地整備

実施年度　14 年度
公園名　雲仙天草国立公園
実施場所　長崎県　雲仙市
地種区分　3
目的　3
概要　園路整備時に生ずる法面に、本地域で育成する植物を用いた緑化を行った。
緑化面積　150 ㎡

使用植物種

植物種名	数量	単位	導入形態	入手条件	調達方法	その他の方法
ノシバ	138	㎡	1	周辺地域で栽培したもの	4	0
クヌギ	3	本	3	周辺地域で栽培したもの	4	0

工事件名　指宿園地整備

実施年度　17 年度
公園名　霧島屋久国立公園
実施場所　鹿児島県指宿市
地種区分　3
目的　3
概要　堤防整備時に生ずる法面に、本地域で育成する植物を用いた緑化を行った。
緑化面積　1580 ㎡

使用植物種

植物種名	数量	単位	導入形態	入手条件	調達方法	その他の方法
ノシバ、コウライシバ	1580	㎡	1	周辺地域で栽培したもの	4	0

工事件名　阿蘇草原再生米塚草原修復

実施年度　18 年度
公園名　阿蘇くじゅう国立公園
実施場所　熊本県　阿蘇市
地種区分　2
目的　1
概要　浸食が進んでいる山肌を再生するため、本地域で育成する植物を用いた緑化を行った。
緑化面積　2040 ㎡

使用植物種

植物種名	数量	単位	導入形態	入手条件	調達方法	その他の方法
ススキ	1300	株	1	周辺地域で栽培したもの	2	0
トダシバ	1300	株	1	周辺地域で栽培したもの	2	0
ノシバ	500	㎡	1	周辺地域で栽培したもの	4	0

	都道府県名 地方環境事務所等名	①地域性在来緑化植物の使用に関する		②地域性在来緑化植物の調達上の問題点							③地域性在来緑化植物の供給・調達に係る要望（自由記入）
		番号	具体的な内容 （1を回答した場合）	1：生産情報が不明	2：発芽や苗木の活着に不安	3：高コスト	4：遺伝情報が不明	5：数量が十分に確保できない	6：その他	その他の問題点	
1	北海道	1		○			○				地域性在来緑化植物として流通する植物には、産地等がわかる生産情報を付与してほしい。
2	青森県	なし									
3	岩手県	3									
4	宮城県	1	今後整備する南三陸金華山公園の金華山島において、ブナ，イヌシデを従来どおり防鹿柵内に植栽する予定。		○					数年間隔でくる豊作年の問題から，良質の種子を定期的かつ定量的に得にくく，植栽に必要な苗木の確保が難しい。	南三陸金華山国定公園の実態は以上のとおりであるが，他の取り組みとしては栗駒国定公園の植生復元に関しても同様に自生しているミネヤナギを挿し穂採取により苗木に養成し，裸地化した山頂付近にボランティアにより定期的に植え込んでいる。
5	秋田県	予定無し	自然保護課においては、今後の予定はありません。								
6	山形県	1		○			○	○			
7	福島県	なし									
8	茨城県	4							○	使用実績がないため特になし	今後本県で使用する際には，現在使用している県が認識している問題点が整理されていると良い。
9	栃木県	2		○			○				発注にあたっては，工事材料の県内調達に努力するよう指示していますので、結果として地域性在来緑化植物が使用されることはありますが，産地（遺伝）情報を証明、確認する仕組みが確立されていないことから、条件とはしていません。産地情報を証明、確認する方法などについての情報を提供していただけると有りがたい。
10	群馬県	3				○					
11	埼玉県	予定無し	予定無し								
12	千葉県	4		○	○		○				
13	東京都	2									
		4						1			地域性在来緑化植物として種子等が生産されていなく流通が無い。
14	神奈川県	なし									
15	新潟県	なし									
16	富山県	3			○			○			特別地域，特別保護地区での緑化について、コンスタントに事業がなされないために技術的な蓄積（導入種，方法、結果等）がない。継続的な事業化が必要。
17	石川県	4		○							厳密に「地域性在来緑化植物」を採用することは、市場ベースでは困難と思います。現実的な対応としては、指定地からの移植(山採り)となると思います。
18	福井県	なし									
19	山梨県	なし									
20	長野県	4		○			○				
21	岐阜県	1	現時点で具体的な計画はないが、供給体制が整備されれば徐々に使用していきたい	○	○						必要性は理解できるため，障害となっている課題（供給体制や緑化能力等）をクリアして、使用しやすい環境整備が必要と思われる。
22	静岡県	4		○	○		○				
23	愛知県										
24	三重県	1	今後の整備予定はない。	○	○		○	○			
25	滋賀県	2		○		○	○	○			
26	京都府	1	平成20年度に基本計画を策定し、地域性在来緑化植物の整備を検討する予定。			○	○	○			
27	大阪府	3	現在のところなし	○			○				
28	兵庫県	1	予定無し		○	○		○		地域性在来緑化植物に限らず、在来緑化植物自体の活着率が悪いため、悪条件下（急勾配、日照時間小）では採用しにくい。	一業者等による大量生産をしておらず、個人による生産が多いため、品質補償が無く、使いにくい。品質証明が発行できるような環境の整備をお願いしたい。
29	奈良県	4	小規模法面においては、種子を配合しないマットを使用して保護する。（周囲から飛来する現地種子により法面を保護する。）	○	○	○	○	○			地域性在来緑化植物として流通する植物には、産地等がわかる生産情報を付与してほしい。
30	和歌山県	2		○							
31	鳥取県	3		○			○				
32	島根県										

	都道府県名 地方環境事務所等名	①地域性在来緑化植物の使用に関する		②地域性在来緑化植物の調達上の問題点							③地域性在来緑化植物の供給・調達に係る要望(自由記入)
		番号	具体的な内容 (1を回答した場合)	1:生産情報が不明	2:発芽や苗木の活着に不安	3:高コスト	4:遺伝情報が不明	5:数量が十分に確保できない	6:その他	その他の問題点	
33	岡山県	1									
34	広島県	2		○			○				地域性在来緑化植物として流通する植物には、産地等がわかる生産情報を付与してほしい。
35	山口県	4		○		○	○				
36	徳島県										
37	香川県										
38	愛媛県	4			○			○			地域性在来緑化植物を用いることは必要なことであると考える。しかし、施工規模が小規模な場合は、今回用いたﾏｻﾞｰｿｲﾙ工法のような工法を除き、時間や費用の面で地域性在来緑化植物を調達することは難しいと思う。
39	高知県	なし									
40	福岡県	なし									
41	佐賀県	4	平成14年度から整備してきた、ふれあい自然塾整備が平成19年度で完了し今後、具体的な地域性在来緑化植物の使用予定はない。	○				○			特になし
42	長崎県	2		○		○	○	○	○	地域性在来緑化植物使用にあたり、種子等の調達から現地で実施しなければならない場合、調達に時間を要し工期に大きな影響を与えることとなる。	
43	熊本県	なし									
44	大分県	1	現在のところ具体的予定はないが、機会があれば積極的に使用したい。	○				○			地域性在来緑化植物に関する情報について、欲しいときに手にはいるようにしてもらえると助かります(例：HPの開設)。また、利用促進につながると考えます。 ・自然公園以外の事業でも需要は多くあると考えます。(例：港路公注来緑化)
45	宮崎県	2		○	○		○				地域性在来緑化植物として流通する植物には、産地等がわかる生産情報を付与してほしい。
46	鹿児島県	なし									
47	沖縄県	4							○		公園事業での植栽は管理出来ないため予定ありません。芝のみ。

	都道府県名 地方環境事務所等名	①地域性在来緑化植物の使用に関する		②地域性在来緑化植物の調達上の問題点							③地域性在来緑化植物の供給・調達に係る要望（自由記入）
		番号	具体的な内容 （1を回答した場合）	1：生産情報が不明	2：発芽や苗木の活着に不安	3：高コスト	4：遺伝情報が不明	5：数量が十分に確保できない	6：その他	その他の問題点	
48	北海道地方環境事務所	なし									
49	釧路自然環境事務所	1		○			○	○			
50	東北地方環境事務所	2		○			○				地域性在来緑化植物の流通実態及び産地等が解るようにして欲しい。
51	関東地方環境事務所	なし									
52	新潟事務所	なし									
53	日光自然環境事務所	なし									
54	箱根自然環境事務所	なし									
55	中部地方環境事務所	なし									
56	長野自然環境事務所	なし									
57	松本自然環境事務所	なし									
58	近畿地方環境事務所	4		○			○				
59	中国四国地方環境事務所	なし									
60	広島事務所	なし									
61	高松事務所	なし									
62	米子自然環境事務所	なし									
63	九州地方環境事務所	2					○	○			－
64	福岡事務所	なし									
65	阿蘇自然環境事務所	なし									
66	那覇自然環境事務所	2		○			○				緑化工事が無く、現状での問題点はないが、地域性在来緑化植物を指定して工事を実施する場合は、証明書等の添付が必要になる。 その証明書はどこが発行するのか調整が必要になると思われます。

10.3.2 公園緑地の結果

都道府県/地方整備局名　北海道

工事件名　オホーツク流氷公園植栽工事

実施年度　18 年度
公園名　オホーツク流氷公園
実施場所　北海道　紋別市
目的　2
概要　本地域に属する系統の樹木を用いた植栽を行った。
緑化面積　3550 ㎡

使用植物種

植物種名	数量	単位	導入形態	入手条件	調達方法	その他の方法
ミズナラ	60	本	1	オホーツク圏内の遠軽･紋別地域で採取したもの	4	0

工事件名　サンピラーパーク　整備事業　植樹工事

実施年度　17 年度
公園名　サンピラーパーク
実施場所　北海道　名寄市
目的　2
概要　公園内の現況植生はカラマツの人工林に代表されており、周辺地域に自生する落葉広葉樹をメインに、在来の自然風景である針広混合林を形成するよう、植栽を行った。
緑化面積　13830 ㎡

使用植物種

植物種名	数量	単位	導入形態	入手条件	調達方法	その他の方法
アカエゾマツ	81	本	1	道内産であること	4	0
トドマツ	58	本	1	道内産であること	4	0
アズキナシ	11	本	1	道内産であること	4	0
イタヤカエデ	38	本	1	道内産であること	4	0
イヌエンジュ	16	本	1	道内産であること	4	0
カツラ	23	本	1	道内産であること	4	0
ケヤマハンノキ	34	本	1	道内産であること	4	0
エゾヤマザクラ	28	本	1	道内産であること	4	0
シラカバ	29	本	1	道内産であること	4	0
シナノキ	28	本	1	道内産であること	4	0
ツリバナ	10	本	1	道内産であること	4	0
ドロヤナギ	13	本	1	道内産であること	4	0
ナナカマド	27	本	1	道内産であること	4	0
ミズナラ	27	本	1	道内産であること	4	0
ハルニレ	26	本	1	道内産であること	4	0
ハシドイ	17	本	1	道内産であること	4	0
ヤチダモ	29	本	1	道内産であること	4	0
ヤマボウシ	12	本	1	道内産であること	4	0
ヤマモミジ	22	本	1	道内産であること	4	0
エゾノコリンゴ	13	本	1	道内産であること	4	0
エゾニワトコ	10	本	1	道内産であること	4	0
ヤマハギ	60	本	1	道内産であること	4	0
タニウツギ	60	本	1	道内産であること	4	0
ノリウツギ	20	本	1	道内産であること	4	0
シモツケ	20	本	1	道内産であること	4	0

工事件名　サンピラーパーク　整備事業（植樹工）工事1工区

実施年度　18 年度
公園名　サンピラーパーク
実施場所　北海道　名寄市
目的　2
概要　公園内の現況植生はカラマツの人工林に代表されており、周辺地域に自生する落葉広葉樹をメインに、在来の自然風景である針広混合林を形成するよう、植栽を行った。
緑化面積　5700 ㎡

使用植物種

植物種名	数量	単位	導入形態	入手条件	調達方法	その他の方法
エゾヤマザクラ	17	本	1	道内産であること	4	0
カツラ	10	本	1	道内産であること	4	0
シラカバ	26	本	1	道内産であること	4	0
ナナカマド	12	本	1	道内産であること	4	0
ハルニレ	12	本	1	道内産であること	4	0
アカエゾマツ	25	本	1	道内産であること	4	0
ドウダンツツジ	50	本	1	道内産であること	4	0
ユキヤナギ	10	本	1	道内産であること	4	0
ニシキギ	10	本	1	道内産であること	4	0
シモツケ	25	本	1	道内産であること	4	0
モンタナハイマツ	20	本	1	道内産であること	4	0
アジサイ	10	本	1	道内産であること	4	0
ガクアジサイ	30	本	1	道内産であること	4	0

工事件名　サンピラーパーク　整備事業（植樹工）工事2工区

実施年度　18 年度
公園名　サンピラーパーク
実施場所　北海道　名寄市
目的　2
概要　公園内の現況植生はカラマツの人工林に代表されており、周辺地域に自生する落葉広葉樹をメインに、在来の自然風景である針広混合林を形成するよう、植栽を行った。
緑化面積　3600 ㎡

使用植物種

植物種名	数量	単位	導入形態	入手条件	調達方法	その他の方法
ﾄﾞｲﾂﾄｳﾋ	29	本	1	道内産であること	4	0
ﾄﾄﾞﾏﾂ	17	本	1	道内産であること	4	0
ｱｽﾞｷﾅｼ	12	本	1	道内産であること	4	0
ｼﾗｶﾊﾞ	26	本	1	道内産であること	4	0
ﾊﾙﾆﾚ	14	本	1	道内産であること	4	0

工事件名　噴火湾パノラマパーク植栽工事

実施年度：　17 年度
公園名：　噴火湾パノラマパーク
実施場所：　北海道　八雲町
目的：　2
概要：　公園内の修景を目的に、北海道道南地域に自生し、樹林を構成している植物を用いて緑化を行った。
緑化面積：　250 ㎡

使用植物種

植物種名	数量	単位	導入形態	入手条件	調達方法	その他の方法
ﾄﾁノキ	107	本	1	道南地域で採取したもの	4	0
マユミ	102	本	1	道南地域で採取したもの	4	0
イタヤカエデ	58	本	1	道南地域で採取したもの	4	0
カツラ	54	本	1	道南地域で採取したもの	4	0
ミズナラ	62	本	1	道南地域で採取したもの	4	0
ﾄﾄﾞﾏﾂ	48	本	1	道南地域で採取したもの	4	0
シナノキ	50	本	1	道南地域で採取したもの	4	0
オニグルミ	25	本	1	道南地域で採取したもの	4	0
ハマナス	60	株	3	道南地域で採取したもの	4	0
エゾムラサキツツ	119	株	3	道南地域で採取したもの	4	0
エゾヤマツツジ	40	株	3	道南地域で採取したもの	4	0
キレンゲツツジ	70	株	3	道南地域で採取したもの	4	0
カバレンゲツツジ	50	株	3	道南地域で採取したもの	4	0

工事件名　道南圏道立広域公園植栽工事（1工区）

実施年度：　14 年度
公園名：　道南四季の杜公園
実施場所：　北海道　函館市
目的：　2
概要：　主に歴史性（国際性）及び温暖な気候風土を演出する植物を選定し、植栽を行った。
緑化面積：　300 ㎡

使用植物種

植物種名	数量	単位	導入形態	入手条件	調達方法	その他の方法
エゾムラサキツツ	60	株	3	設定条件は無し	4	0
タニウツギ	40	株	3	設定条件は無し	4	0
アカエゾマツ	44	本	1	設定条件は無し	4	0
イタヤカエデ	70	本	1	設定条件は無し	4	0
ハルニレ	40	本	1	設定条件は無し	4	0

工事件名　道南圏道立広域公園植栽工事（2工区）

実施年度：　14 年度
公園名：　道南四季の杜公園
実施場所：　北海道　函館市
目的：　2
概要：　主に歴史性（国際性）及び温暖な気候風土を演出する植物を選定し、植栽を行った。
緑化面積：　680 ㎡

使用植物種

植物種名	数量	単位	導入形態	入手条件	調達方法	その他の方法
エゾムラサキツツ	10	株	3	設定条件は無し	4	0
ニシキギ	25	株	3	設定条件は無し	4	0
アカエゾマツ	66	本	1	設定条件は無し	4	0
イタヤカエデ	70	本	1	設定条件は無し	4	0
エゾヤマザクラ	16	本	1	設定条件は無し	4	0
カツラ	24	本	1	設定条件は無し	4	0
シラカバ	48	本	1	設定条件は無し	4	0
ナナカマド	34	本	1	設定条件は無し	4	0
ハルニレ	56	本	1	設定条件は無し	4	0
ブナ	22	本	1	設定条件は無し	4	0
ヤマモミジ	38	本	1	設定条件は無し	4	0

工事件名　道南圏道立広域公園植栽工事（3工区）

実施年度：　14 年度
公園名：　道南四季の杜公園
実施場所：　北海道　函館市
目的：　2
概要：　主に歴史性（国際性）及び温暖な気候風土を演出する植物を選定し、植栽を行った。
緑化面積：　860 ㎡

使用植物種

植物種名	数量	単位	導入形態	入手条件	調達方法	その他の方法
エゾムラサキツツ	10	株	3	設定条件は無し	4	0
エゾヤマツツジ	10	株	3	設定条件は無し	4	0
ナツヅタ	85	株	3	設定条件は無し	4	0
ニシキギ	20	株	3	設定条件は無し	4	0
アカエゾマツ	12	本	1	設定条件は無し	4	0
イタヤカエデ	70	本	1	設定条件は無し	4	0
エゾヤマザクラ	34	本	1	設定条件は無し	4	0
カツラ	14	本	1	設定条件は無し	4	0
シナノキ	16	本	1	設定条件は無し	4	0
シラカバ	38	本	1	設定条件は無し	4	0
ナナカマド	40	本	1	設定条件は無し	4	0
ハルニレ	28	本	1	設定条件は無し	4	0
ブナ	34	本	1	設定条件は無し	4	0
ミズナラ	130	本	1	設定条件は無し	4	0
ヤマハンノキ	48	本	1	設定条件は無し	4	0

工事件名　　十勝エコロジーパーク植栽工事

実施年度:　　15 年度
公園名:　　道立十勝ｴｺﾛｼﾞｰﾊﾟｰｸ
実施場所:　　北海道　音更町
目的:　　番号
概要:　　園内の樹木の配置バランスを考慮し、修景する目的で緑化を行った。
緑化面積:　　590 ㎡

使用植物種

植物種名	数量	単位	導入形態	入手条件	調達方法	その他の方法
イタヤカエデ	170	本	1	近郊の圃場で育成されたもの、山採り樹木であれば圃場で2年以上生育されたもの	4	0
ケヤマハンノキ	111	本	1	近郊の圃場で育成されたもの、山採り樹木であれば圃場で3年以上生育されたもの	4	0
シラカバ	304	本	1	近郊の圃場で育成されたもの、山採り樹木であれば圃場で4年以上生育されたもの	4	0
ハルニレ	159	本	1	近郊の圃場で育成されたもの、山採り樹木であれば圃場で5年以上生育されたもの	4	0
ミズナラ	231	本	1	近郊の圃場で育成されたもの、山採り樹木であれば圃場で6年以上生育されたもの	4	0

工事件名　　十勝エコロジーパーク植栽工事

実施年度:　　17 年度
公園名:　　道立十勝ｴｺﾛｼﾞｰﾊﾟｰｸ
実施場所:　　北海道　音更町
目的:　　2
概要:　　園内の樹木の配置バランスを考慮し、修景する目的で緑化を行った。
緑化面積:　　1420 ㎡

使用植物種

植物種名	数量	単位	導入形態	入手条件	調達方法	その他の方法
イタヤカエデ	355	本	1	近郊の圃場で育成されたもの、山採り樹木であれば圃場で2年以上生育されたもの	4	0
オニグルミ	198	本	1	近郊の圃場で育成されたもの、山採り樹木であれば圃場で3年以上生育されたもの	4	0
キタコブシ	194	本	1	近郊の圃場で育成されたもの、山採り樹木であれば圃場で4年以上生育されたもの	4	0
ケヤマハンノキ	325	本	1	近郊の圃場で育成されたもの、山採り樹木であれば圃場で5年以上生育されたもの	4	0
シラカバ	343	本	1	近郊の圃場で育成されたもの、山採り樹木であれば圃場で6年以上生育されたもの	4	0
カシワ	102	本	1	近郊の圃場で育成されたもの、山採り樹木であれば圃場で7年以上生育されたもの	4	0
ミズナラ	453	本	1	近郊の圃場で育成されたもの、山採り樹木であれば圃場で8年以上生育されたもの	4	0
ヤチダモ	69	本	1	近郊の圃場で育成されたもの、山採り樹木であれば圃場で9年以上生育されたもの	4	0

都道府県/地方整備局名　福島県

工事件名　都市公園整備工事

実施年度：　14 年度
公園名：　いわき公園
実施場所：　福島県　いわき市
目的：　2
概要：　いわき公園内において、四季の魅力を積極的にアピールし、水と緑がおりなす四季の彩りの中で、散策、休憩の場となるよう植栽により修景を実施した。
緑化面積：　495 ㎡

使用植物種

植物種名	数量	単位	導入形態	入手条件	調達方法	その他の方法
ケヤキ	2	本	1	特になし	4	0
オオムラサキツツ	21	本	1	特になし	4	0
キリシマツツジ	24	本	1	特になし	4	0
ウメ	21	本	1	特になし	4	0
ソメイヨシノ	18	本	1	特になし	4	0
ドウダンツツジ	260	本	1	特になし	4	0
サツキツツジ	130	本	1	特になし	4	0
ヒイラギナンテン	32	本	1	特になし	4	0
タブノキ	1	本	1	特になし	4	0
ヤマボウシ	1	本	1	特になし	4	0
モッコク	1	本	1	特になし	4	0
ヤマモミジ	2	本	1	特になし	4	0
シャラ	2	本	1	特になし	4	0
クスノキ	1	本	1	特になし	4	0

工事件名　都市公園整備工事

実施年度：　16 年度
公園名：　いわき公園
実施場所：　福島県　いわき市
目的：　2
概要：　いわき公園内において、四季の魅力を積極的にアピールし、水と緑がおりなす四季の彩りの中で、散策、休憩の場となるよう植栽により修景を実施した。
緑化面積：　100 ㎡

使用植物種

植物種名	数量	単位	導入形態	入手条件	調達方法	その他の方法
ソメイヨシノ	20	本	1	特になし	4	0

工事件名　都市公園整備工事

実施年度：　17 年度
公園名：　会津レクリエーション公園
実施場所：　福島県　会津若松市
目的：　2
概要：　会津レクリエーション公園内において、湿性地を再生するために、本地域に属する系統の植物を用いた緑化を行った。
緑化面積：　96 ㎡

使用植物種

植物種名	数量	単位	導入形態	入手条件	調達方法	その他の方法
マコモ	1450	株	1	福島県相馬郡小高町で採取したもの	4	0
ヒツジグサ	950	株	1	福島県相馬郡小高町で採取したもの	4	0
ヤマザクラ	23	本	1	福島県相馬郡小高町で採取したもの	4	0
ナツツバキ	45	本	1	福島県相馬郡小高町で採取したもの	4	0

都道府県/地方整備局名　東京都

工事件名　水元公園水試跡地整備工事その2

実施年度：　17 年度
公園名：　水元公園
実施場所：　東京都　葛飾区
目的：　1
概要：　水元公園水産試験場跡地において、環境保全・環境学習・レクリエーションをテーマにかつて形成されていた水辺環境を復元するため、本流域に生育する植物を用いた緑化を行った。
緑化面積：　50,000 ㎡

使用植物種

植物種名	数量	単位	導入形態	入手条件	調達方法	その他の方法
イ	1424	株	1	荒川、利根川流域産	4	0
オモダカ	12	株	1	荒川、利根川流域産	4	0
ガガブタ	50	株	1	荒川、利根川流域産	4	0
カキツバタ	135	株	1	荒川、利根川流域産	4	0
カンガレイ	18	株	1	荒川、利根川流域産	4	0
クサレダマ	27	株	1	荒川、利根川流域産	4	0
クロモ	10	株	1	荒川、利根川流域産	4	0
ゴウソ	22	株	1	荒川、利根川流域産	4	0
コウホネ	164	株	1	荒川、利根川流域産	4	0
ショウブ	41	株	1	荒川、利根川流域産	4	0
チゴザサ	111	株	1	荒川、利根川流域産	4	0
デンジソウ	10	株	1	荒川、利根川流域産	4	0
トチカガミ	31	株	1	荒川、利根川流域産	4	0
ノカンゾウ	32	株	1	荒川、利根川流域産	4	0
ヒツジグサ	13	株	1	荒川、利根川流域産	4	0
ヒルムシロ	54	株	1	荒川、利根川流域産	4	0
フトイ	27	株	1	荒川、利根川流域産	4	0
ヘラオモダカ	12	株	1	荒川、利根川流域産	4	0
ホソイ	12	株	1	荒川、利根川流域産	4	0
マツモ	12	株	1	荒川、利根川流域産	4	0
ミクリ	5	株	1	荒川、利根川流域産	4	0
ミゾカクシ	110	株	1	荒川、利根川流域産	4	0
ミソハギ	140	株	1	荒川、利根川流域産	4	0

工事件名　水元公園水試跡地整備工事

実施年度：　18 年度
公園名：　水元公園
実施場所：　東京都　葛飾区
目的：　1
概要：　水元公園水産試験場跡地において、環境保全・環境学習・レクリエーションをテーマにかつて形成されていた水辺環境を復元するため、本流域に生育する植物を用いた緑化を行った。
緑化面積：　20,000 ㎡

使用植物種

植物種名	数量	単位	導入形態	入手条件	調達方法	その他の方法
アカメヤナギ	21	株	1	水元産	4	0
イヌコリヤナギ	18	株	1	水元産	4	0

都道府県/地方整備局名　岐阜県

工事件名　都市公園事業

実施年度：　15 年度
公園名：　平成記念公園
実施場所：　岐阜県　美濃加茂市
目的：　5
概要：　本公園のテーマである里山の景観に基づいた植栽を行った。
緑化面積：　840,000 ㎡

使用植物種

植物種名	数量	単位	導入形態	入手条件	調達方法	その他の方法
ヤエザクラ	45	本	1	県内産資材	4	県内産資材の積極的活用
コブシ	2	本	1	県内産資材	4	〃
シラカシ	1	本	1	県内産資材	4	〃
オオムラサキツツ	527	本	1	県内産資材	4	〃
サツキツツジ	382	本	1	県内産資材	4	〃
クルメツツジ	89	本	1	県内産資材	4	〃
レンギョウ	30	本	1	県内産資材	4	〃
フジ	5	本	1	県内産資材	4	〃
アラカシ	3	本	1	既存で県内に生息している木本	2	公園緑地外より自前で調達
イチョウ	2	本	1	既存で県内に生息している木本	2	〃
ウスズミザラ	1	本	1	既存で県内に生息している木本	2	〃
オニグルミ	3	本	1	既存で県内に生息している木本	2	〃
カキ	7	本	1	既存で県内に生息している木本	2	〃
カツラ	1	本	1	既存で県内に生息している木本	2	〃
キンモクセイ	7	本	1	既存で県内に生息している木本	2	〃
クスノキ	1	本	1	既存で県内に生息している木本	2	〃
グミ	1	本	1	既存で県内に生息している木本	2	〃
クロガネモチ	26	本	1	既存で県内に生息している木本	2	〃
クロマツ	1	本	1	既存で県内に生息している木本	2	〃
ケヤキ	9	本	1	既存で県内に生息している木本	2	〃
コブシ	10	本	1	既存で県内に生息している木本	2	〃
シラカシ	2	本	1	既存で県内に生息している木本	2	〃
チャボヒバ	5	本	1	既存で県内に生息している木本	2	〃
ツバキ	1	本	1	既存で県内に生息している木本	2	〃
ナシ	2	本	1	既存で県内に生息している木本	2	〃
ハクバイ	10	本	1	既存で県内に生息している木本	2	〃
マテバシイ	2	本	1	既存で県内に生息している木本	2	〃
ミズキ	4	本	1	既存で県内に生息している木本	2	〃
ミツデカエデ	1	本	1	既存で県内に生息している木本	2	〃
モモ	1	本	1	既存で県内に生息している木本	2	〃
ヤマモミジ	2	本	1	既存で県内に生息している木本	2	〃

工事件名　都市公園事業

実施年度：　15 年度
公園名：　花フェスタ記念公園
実施場所：　岐阜県　可児市
目的：　5
概要：　バラのテーマガーデン新設に伴い、周辺の景観に適した植栽を行った
緑化面積：　5,700 ㎡

使用植物種

植物種名	数量	単位	導入形態	入手条件	調達方法	その他の方法
ユキヤナギ	21	本	1	県内産資材	4	県内産資材の積極的活用
ノリウツギ・ミナツ	12	本	1	県内産資材	4	県内産資材の積極的活用
ユキヤナギ・黄金	3	本	1	県内産資材	4	県内産資材の積極的活用

都道府県/地方整備局名　京都府

工事件名　第3回花いっぱい大作戦～花咲く里山づくり～

実施年度：　18 年度
公園名：　関西文化学術研究都市記念公園
実施場所：　京都府　相楽郡
目的：　2
概要：　けいはんな記念公園の自然林は管理放棄された結果荒廃し、大部分が立ち入り禁止区域になり、『愛されない森』になってしまった。今回この森を散策のための『花の森』にするため間伐、下刈り作業を経て地域住民や一般公園利用者と共にササユリの植栽をするに至った。
緑化面積：　100 ㎡

使用植物種

植物種名	数量	単位	導入形態	入手条件	調達方法	その他の方法
ササユリ	100	球	2	植栽地の環境に合うもの 魅力的な花が咲くもの 開花率の良いもの	4	0

都道府県/地方整備局名　兵庫県

工事件名　第一工区植栽工事

実施年度：　18 年度
公園名：　尼崎の森中央緑地
実施場所：　兵庫県　尼崎市
目的：　1

概要：　森と水と人が共生する環境創造のまちづくりを先導する尼崎の森中央緑地において、地域固有性をキーワードに生物多様性をめざした植栽を行った。

緑化面積：　316 ㎡

使用植物種

植物種名	数量	単位	導入形態	入手条件	調達方法	その他の方法
アベマキ	494	本	1	阪神間地域（武庫川水系、猪名川水系、六甲山系）に自生する樹木から採取した種子による苗木	4	0
クヌギ	200	本	1	阪神間地域（武庫川水系、猪名川水系、六甲山系）に自生する樹木から採取した種子による苗木	4	0
コナラ	369	本	1	阪神間地域（武庫川水系、猪名川水系、六甲山系）に自生する樹木から採取した種子による苗木	4	0

工事件名　開園式記念植樹

実施年度：　18 年度
公園名：　尼崎の森中央緑地
実施場所：　兵庫県　尼崎市
目的：　1

概要：　森と水と人が共生する環境創造のまちづくりを先導する尼崎の森中央緑地において、地域固有性をキーワードに生物多様性をめざした植栽を行った。

緑化面積：　91 ㎡

使用植物種

植物種名	数量	単位	導入形態	入手条件	調達方法	その他の方法
アベマキ	67	本	1	阪神間地域（武庫川水系、猪名川水系、六甲山系）に自生する樹木から採取した種子による苗木	2	0
コナラ	114	本	1	阪神間地域（武庫川水系、猪名川水系、六甲山系）に自生する樹木から採取した種子による苗木	2	0

工事件名　オリーブ基金植樹

実施年度：　18 年度
公園名：　尼崎の森中央緑地
実施場所：　兵庫県　尼崎市
目的：　1
概要：　森と水と人が共生する環境創造のまちづくりを先導する尼崎の森中央緑地において、地域固有性をキーワードに生物多様性をめざした植栽を行った。
緑化面積：　167 ㎡

使用植物種

植物種名	数量	単位	導入形態	入手条件	調達方法	その他の方法
アベマキ	254	本	1	阪神間地域（武庫川水系、猪名川水系、六甲山系）に自生する樹木から採取した種子による苗木	4	0
クヌギ	60	本	1	阪神間地域（武庫川水系、猪名川水系、六甲山系）に自生する樹木から採取した種子による苗木	4	0
コナラ	223	本	1	阪神間地域（武庫川水系、猪名川水系、六甲山系）に自生する樹木から採取した種子による苗木	4	0

工事件名　補助競技場周辺整備工事

実施年度：　17 年度
公園名：　三木総合防災公園
実施場所：　兵庫県　三木市
目的：　2
概要：　三木総合防災公園に隣接して立地する郷土種の寄贈による。
緑化面積：　300 ㎡

使用植物種

植物種名	数量	単位	導入形態	入手条件	調達方法	その他の方法
ベニカナメモチ	126	本	1	西脇市内で採取したもの	2	0

都道府県/地方整備局名　岡山県

工事件名　園内植栽工事

実施年度:　17 年度
公園名:　倉敷スポーツ公園
実施場所:　岡山県　倉敷市
目的:　1
概要:　倉敷スポーツ公園において、形成されていた樹林を再生するため
緑化面積:　66 ㎡

使用植物種

植物種名	数量	単位	導入形態	入手条件	調達方法	その他の方法
ニッコウヒバ	13	本	1	九州地域で生産されたもの	4	0
ケヤキ	1	本	1	九州地域で生産されたもの	4	0
カルミア	40	本	1	九州地域で生産されたもの	4	0
ハイビクシン	45	本	1	九州地域で生産されたもの	4	0
シャリンバイ	15	本	1	九州地域で生産されたもの	4	0
キンメツゲ	55	本	1	九州地域で生産されたもの	4	0
コウライシバ	66	㎡	1	山陰地域で生産されたもの	4	0

都道府県/地方整備局名　広島県

工事件名　指定管理施設緑地管理業務

実施年度：　17 年度
公園名：　広島県緑化センター･広島緑化植物公園
実施場所：　広島県　広島市
目的：　2
概要：　広島に縁のあるサクラ品種の紹介と修景を兼ねた植栽
緑化面積：　13 ㎡

使用植物種

植物種名	数量	単位	導入形態	入手条件	調達方法	その他の方法
エバヤマザクラ	3	本	1	広島市の公募	5	寄贈：広島市
ヒバクザクラ	1	本	1	広島市の公募	5	寄贈：広島市

工事件名　指定管理施設緑地管理業務

実施年度：　18 年度
公園名：　広島県緑化センター･広島緑化植物公園
実施場所：　広島県　広島市
目的：　5
概要：　県の天然記念物に指定されている樹木を植栽･展示
緑化面積：　21 ㎡

使用植物種

植物種名	数量	単位	導入形態	入手条件	調達方法	その他の方法
チュゴクボダイジ	2	本	4	八千代湖に生育している県の天然記念物に指定されている樹木から作られた子孫木を移植	5	寄贈：安芸高田市と国土交通省等の了解を得て実施
テングシデ	5	本	1	大朝の国の天然記念物であるテングシデ群落から実生の苗木を移植	5	寄贈：北広島町と国等の了解を得て実施

工事件名　指定管理施設緑地管理業務

実施年度：　19 年度
公園名：　広島県緑化センター･広島緑化植物公園
実施場所：　広島県　広島市
目的：　2
概要：　県のレッドデータブックに記載されている草花の増殖
緑化面積：　125 ㎡

使用植物種

植物種名	数量	単位	導入形態	入手条件	調達方法	その他の方法
オキナグサ	200	株	2	園内で採取したオキナグサの種子を播種し育成管理中	3	0
ヤマアジサイ	100	株	2	園内で自生しているヤマアジサイを挿し木･育成中	3	0

都道府県/地方整備局名　山口県

工事件名　都市公園整備

実施年度：　14 年度
公園名：　江汐公園
実施場所：　山口県　山陽小野田市
目的：　2
概要：　本地域に属する系統の植物を用いた緑化を行った。
緑化面積：　400 ㎡

使用植物種

植物種名	数量	単位	導入形態	入手条件	調達方法	その他の方法
ミツバツツジ	264	本	1	本地域に生育しているもの	4	0
ヤマザクラ	15	本	1	本地域に生育しているもの	4	0
コナラ	16	本	1	本地域に生育しているもの	4	0

工事件名　都市公園整備

実施年度：　17 年度
公園名：　江汐公園
実施場所：　山口県　山陽小野田市
目的：　2
概要：　本地域に属する系統の植物を用いた緑化を行った。
緑化面積：　600 ㎡

使用植物種

植物種名	数量	単位	導入形態	入手条件	調達方法	その他の方法
ヤブツバキ	330	本	1	本地域に生育しているもの	4	0

都道府県/地方整備局名　佐賀県

工事件名　佐賀城公園公園整備工事

実施年度：　15 年度
公園名：　佐賀城公園
実施場所：　佐賀県　佐賀市
目的：　2
概要：　歴史の森ゾーン（東城内地区）の佐賀城本丸歴史館周辺の修景工として、緑化を行った。
緑化面積：　120 ㎡

使用植物種

植物種名	数量	単位	導入形態	入手条件	調達方法	その他の方法
フイリアオキ	15	株	3	県産品資材の優先使用	4	0
ラカンマキ	306	株	1	公園内に生育しているもの	3	0
イチョウ	2	本	1	公園内に生育しているもの	3	0
サクラ	3	本	1	公園内に生育しているもの	3	0

工事件名　佐賀城公園公園整備工事

実施年度：　16 年度
公園名：　佐賀城公園
実施場所：　佐賀県　佐賀市
目的：　2
概要：　歴史の森ゾーン（東城内地区）の佐賀城本丸歴史館周辺の修景工として、緑化を行った。
緑化面積：　64 ㎡

使用植物種

植物種名	数量	単位	導入形態	入手条件	調達方法	その他の方法
クロマツ	2	本	1	公園内に生育しているもの	3	0
サルスベリ	2	本	1	公園内に生育しているもの	3	0
クスノキ	1	本	1	公園内に生育しているもの	3	0
イチョウ	2	本	1	公園内に生育しているもの	3	0

工事件名　佐賀城公園公園整備工事

実施年度：　18 年度
公園名：　佐賀城公園
実施場所：　佐賀県　佐賀市
目的：　2
概要：　西濠の一部（北側）の修景工として、緑化を行った。
緑化面積：　17 ㎡

使用植物種

植物種名	数量	単位	導入形態	入手条件	調達方法	その他の方法
ケヤキ	1	本	3	県産品資材の優先使用	4	0
モチノキ	3	本	3	県産品資材の優先使用	4	0
サザンカ	6	本	3	県産品資材の優先使用	4	0
ヤブツバキ	6	本	3	県産品資材の優先使用	4	0
カンツバキ	30	株	3	県産品資材の優先使用	4	0
ナンキンハゼ	1	本	1	公園内に生育しているもの	3	0
ヒラドツツジ	27	株	1	公園内に生育しているもの	3	0

工事件名　吉野ヶ里歴史公園公園整備工事

実施年度：　17 年度
公園名：　吉野ヶ里歴史公園
実施場所：　佐賀県　吉野ヶ里町
目的：　1
概要：　吉野ヶ里歴史公園は「弥生人の声が聞こえる」を基本テーマとし、植栽計画においては、植栽基礎調査により明確になった縄文時代から弥生時代までのデータをもとに、樹種を選定し、植栽を行った。
緑化面積：　7,881 ㎡

使用植物種

植物種名	数量	単位	導入形態	入手条件	調達方法	その他の方法
クロガネモチ	13	本	4	特になし	4	0

工事件名　吉野ヶ里歴史公園公園整備工事

実施年度：　18 年度
公園名：　吉野ヶ里歴史公園
実施場所：　佐賀県　吉野ヶ里町
目的：　1
概要：　吉野ヶ里歴史公園は「弥生人の声が聞こえる」を基本テーマとし、植栽計画においては、植栽基礎調査により明確になった縄文時代から弥生時代までのデータをもとに、樹種を選定し、植栽を行った。
緑化面積：　3,662 ㎡

使用植物種

植物種名	数量	単位	導入形態	入手条件	調達方法	その他の方法
クロガネモチ	16	本	4	特になし	4	0

工事件名　吉野ヶ里歴史公園公園整備工事

実施年度：　18 年度
公園名：　吉野ヶ里歴史公園
実施場所：　佐賀県　吉野ヶ里町
目的：　1
概要：　吉野ヶ里歴史公園は「弥生人の声が聞こえる」を基本テーマとし、植栽計画においては、植栽基礎調査により明確になった縄文時代から弥生時代までのデータをもとに、樹種を選定し、植栽を行った。
緑化面積：　1,228 ㎡

使用植物種

植物種名	数量	単位	導入形態	入手条件	調達方法	その他の方法
クロガネモチ	5	本	4	特になし	4	0
カクレミノ	8	本	4	特になし	4	0
シロダモ	3	本	1	特になし	4	0
ヤシャブシ	4	本	1	特になし	4	0
ヤブニッケイ	8	本	1	特になし	4	0
スダジイ	51	本	1	特になし	4	0
ツブラジイ	60	本	1	特になし	4	0
クスノキ	57	本	1	特になし	4	0
タブノキ	50	本	1	特になし	4	0
イスノキ	53	本	1	特になし	4	0
クロガネモチ	55	本	1	特になし	4	0

都道府県/地方整備局名　新潟市

工事件名　水の公園福島潟ハンノキ植樹事業

実施年度：　15～18　年度
公園名：　水の公園福島潟
実施場所：　新潟県　豊栄市(15,16年度)，新潟市(17,18年度)
目的：　1
概要：　公園内にはさ木となるハンノキを並木状に植樹し，昭和30年代に潟端で普通に見られたはさ木並木
緑化面積：　100 ㎡

使用植物種

植物種名	数量	単位	導入形態	入手条件	調達方法	その他の方法
ハンノキ	100	本	1	公園内の母樹から種を採集し，実生から育てた苗を使用した	1	0

都道府県/地方整備局名　浜松市

工事件名　天竜川緑地植栽工事

実施年度：　17 年度
公園名：　天竜川緑地
実施場所：　静岡県　浜松市
目的：　2
概要：　天竜川河川敷を多目的空間に整備するため、芝生張並びに低木植栽を行った。
緑化面積：　32,600 ㎡

使用植物種

植物種名	数量	単位	導入形態	入手条件	調達方法	その他の方法
キンメツゲ	1120	株	3	なし	4	0

工事件名　都田総合公園整備工事

実施年度：　17 年度
公園名：　都田総合公園
実施場所：　静岡県　浜松市
目的：　2
概要：　多目的広場周辺の法面及び休憩広場に、高中木38本、低木2,080株、芝張の植栽を行った。
緑化面積：　16,200 ㎡

使用植物種

植物種名	数量	単位	導入形態	入手条件	調達方法	その他の方法
ケヤキ	6	本	1	なし	4	0
クスノキ	2	本	1	なし	4	0

工事件名　都田総合公園整備工事

実施年度：　16 年度
公園名：　都田総合公園
実施場所：　静岡県　浜松市
目的：　2
概要：　多目的広場整備のため、芝張を行った。
緑化面積：　20,000 ㎡

使用植物種

植物種名	数量	単位	導入形態	入手条件	調達方法	その他の方法
シバ	20000	㎡	3	なし	4	0

工事件名　佐鳴湖公園北岸区域植栽工事

実施年度：　18 年度
公園名：　佐鳴湖公園
実施場所：　静岡県　浜松市
目的：　2
概要：　佐鳴湖公園北岸区域において、修景のため高中木23本、低木2,815株、芝張の植栽を行った。
緑化面積：　100 ㎡

使用植物種

植物種名	数量	単位	導入形態	入手条件	調達方法	その他の方法
ヤマモモ	3	本	1	なし	4	0
マテバシイ	3	本	1	なし	4	0

工事件名　佐鳴湖公園整備工事

実施年度:　14 年度
公園名:　佐鳴湖公園
実施場所:　静岡県　浜松市
目的:　2
概要:　艇庫駐車場整備のため、高中木20本、低木195株、芝張の植栽を行った。
緑化面積:　1,050 ㎡

使用植物種

植物種名	数量	単位	導入形態	入手条件	調達方法	その他の方法
コブシ	3	本	1	なし	4	0
カンツバキ	45	株	3	なし	4	0

工事件名　四ッ池公園整備工事

実施年度:　15 年度
公園名:　四ッ池公園
実施場所:　静岡県　浜松市
目的:　2
概要:　休憩広場修景のため、高中木27本、低木1,153株、芝張の植栽を行った。
緑化面積:　3,983 ㎡

使用植物種

植物種名	数量	単位	導入形態	入手条件	調達方法	その他の方法
ヤマモモ	2	本	1	なし	4	0

工事件名　四ッ池公園整備工事

実施年度:　16 年度
公園名:　四ッ池公園
実施場所:　静岡県　浜松市
目的:　2
概要:　休憩広場修景のため、高中木21本、低木530株、芝張の植栽を行った。
緑化面積:　1,613 ㎡

使用植物種

植物種名	数量	単位	導入形態	入手条件	調達方法	その他の方法
ハナミズキ	3	本	1	なし	4	0
ヤブツバキ	3	株	3	なし	4	0

都道府県/地方整備局名　名古屋市

工事件名　ビオトープ「東海の植物保存園」整備工事

実施年度：　15～17　年度
公園名：　東山植物園
実施場所：　愛知県　　0
目的：　1
概要：　名古屋市東部丘陵地域にある自然の湿地等を創出し、ビオトープとして再生した
緑化面積：　5,000 ㎡

使用植物種

植物種名	数量	単位	導入形態	入手条件	調達方法	その他の方法
ヒトツバタゴ	8	本	1	東海地域内で採種育成したもの	2	0
シデコブシ	40	本	1	東海地域内で採種育成したもの	2	0
ハナノキ	8	本	1	東海地域内で採種育成したもの	2	0
マメナシ	20	本	1	自生地のものから種を取り発芽育成したもの	2	0
サクラバハンノキ	5	本	1	東海地域内で採種育成したもの	2	0
ヘビノボラズ	数	株	1	東海地域内で採種育成したもの	2	0
ミカワバイケイソ	数	株	1	東海地域内で採種育成したもの	2	0
カキノハグサ	数	株	1	東海地域内で採種育成したもの	2	0
イワショウブ	数	株	1	東海地域内で採種育成したもの	2	0
サワギキョウ	数	株	1	東海地域内で採種育成したもの	2	0
ネバリノギラン	数	株	1	東海地域内で採種育成したもの	2	0
ショウジョウバカ	数	株	1	東海地域内で採種育成したもの	2	0
カザグルマ	数	株	1	東海地域内で採種育成したもの	2	0
サギソウ	数	株	1	東海地域内で採種育成したもの	2	0
クロミノニシゴリ	数	株	1	東海地域内で採種育成したもの	2	0
ノリウツギ	数	株	1	東海地域内で採種育成したもの	2	0
ミミカキグサ	数	株	1	東海地域内で採種育成したもの	2	0
アリノトウグサ	数	株	1	東海地域内で採種育成したもの	2	0
コバノミツバツツ	200	株	1	東海地域内で採種育成したもの	2	0
ウンヌケ	数	株	1	自生地から採取し育成したもの	2	0

都道府県/地方整備局名　神戸市

工事件名　しあわせの森北側緑地植栽工事

実施年度：　14 年度
公園名：　しあわせの森
実施場所：　兵庫県　神戸市
目的：　1
概要：　造成緑地において、現存植生や周辺の保存樹林等との連続性に配慮した植生再生をはかるため、地域性緑化植物による緑化を行った。
緑化面積：　15,270 ㎡

使用植物種

植物種名	数量	単位	導入形態	入手条件	調達方法	その他の方法
クヌギ	1321	本	1	地域自生種または、神戸市周辺で採取されたもの	4	0
コナラ	2850	本	1	〃	4	0
アベマキ	678	本	1	〃	4	0
アラカシ	84	本	1	〃	4	0
ヤマザクラ	1497	本	1	〃	4	0
アカマツ	2598	本	1	〃	4	0
ウワミズザクラ	162	本	1	〃	4	0
カマツカ	1684	本	1	〃	4	0
ネズミモチ	51	本	1	〃	4	0
ヒサカキ	726	本	1	〃	4	0
ヤブニッケイ	403	本	1	〃	4	0
ヤマハゼ	50	本	1	〃	4	0
ソヨゴ	485	本	1	〃	4	0
イヌツゲ	331	本	1	〃	4	0
イボタノキ	288	本	1	〃	4	0
コバノガマズミ	458	本	1	〃	4	0
コバノガマズミ	161	本	1	〃	4	0
コバノミツバツツ	5766	本	1	〃	4	0
ミヤマガマズミ	2498	本	1	〃	4	0
ムラサキシキブ	955	本	1	〃	4	0
モチツツジ	1455	本	1	〃	4	0
ヤブムラサキ	798	本	1	〃	4	0
ヤブムラサキ	157	本	1	〃	4	0
クロモジ	81	本	1	〃	4	0
コマユミ	161	本	1	〃	4	0

工事件名　　しあわせの森北側緑地植栽工事（その2）

実施年度：　　15 年度
公園名：　しあわせの森
実施場所：　兵庫県　神戸市
目的：　1
概要：　造成緑地において、現存植生や周辺の保存樹林等との連続性に配慮した植生再生をはかるため、地域性緑化植物による緑化を行った。
緑化面積：　12,175 ㎡

使用植物種

植物種名	数量	単位	導入形態	入手条件	調達方法	その他の方法
アオハダ	55	本	1	地域自生種または、神戸市周辺で採取されたもの	4	0
アカマツ	628	本	1	〃	4	0
アベマキ	458	本	1	〃	4	0
アラカシ	36	本	1	〃	4	0
イスノキ	3	本	1	〃	4	0
イヌツゲ	49	本	1	〃	4	0
イボタノキ	358	本	1	〃	4	0
ウラジロノキ	201	本	1	〃	4	0
ウリカエデ	768	本	1	〃	4	0
ウワミズザクラ	96	本	1	〃	4	0
エゴノキ	18	本	1	〃	4	0
カスミザクラ	597	本	1	〃	4	0
カマツカ	1023	本	1	〃	4	0
カンサイスノキ	45	本	1	〃	4	0
ガンピ	43	本	1	〃	4	0
クロモジ	510	本	1	〃	4	0
コナラ	1305	本	1	〃	4	0
コバノガマズミ	1306	本	1	〃	4	0
コバノミツバツツ	1687	本	1	〃	4	0
コマユミ	214	本	1	〃	4	0
ソヨゴ	688	本	1	〃	4	0
タカノツメ	248	本	1	〃	4	0
ツクバネウツギ	772	本	1	〃	4	0
ナツハゼ	78	本	1	〃	4	0
ネジキ	799	本	1	〃	4	0
ネズミモチ	35	本	1	〃	4	0
ノグルミ	176	本	1	〃	4	0
ハネミイヌエンジ	7	本	1	〃	4	0
ヒサカキ	227	本	1	〃	4	0
マルバアオダモ	282	本	1	〃	4	0
ミヤマガマズミ	1565	本	1	〃	4	0
ムラサキシキブ	1231	本	1	〃	4	0
モチツツジ	1854	本	1	〃	4	0
ヤブツバキ	211	本	1	〃	4	0
ヤブニッケイ	227	本	1	〃	4	0
ヤブムラサキ	32	本	1	〃	4	0
ヤマウグイスカク	66	本	1	〃	4	0
ヤマザクラ	15	本	1	〃	4	0
ヤマツツジ	823	本	1	〃	4	0
ヤマハゼ	634	本	1	〃	4	0
ヤマボウシ	947	本	1	〃	4	0
リョウブ	764	本	1	〃	4	0

工事件名　　しあわせの森北側緑地植栽工事（その3）

実施年度：　　15 年度
公園名：　しあわせの森
実施場所：　兵庫県　神戸市
目的：　1
概要：　造成緑地において、現存植生や周辺の保存樹林等との連続性に配慮した植生再生をはかるため、地域性緑化植物による緑化を行った。
緑化面積：　15,036 ㎡

使用植物種

植物種名	数量	単位	導入形態	入手条件	調達方法	その他の方法
アカマツ	619	本	1	地域自生種または、神戸市周辺で採取されたもの	4	0
アベマキ	468	本	1	〃	4	0
アラカシ	72	本	1	〃	4	0
ウワミズザクラ	241	本	1	〃	4	0
エゴノキ	49	本	1	〃	4	0
カスミザクラ	493	本	1	〃	4	0
コナラ	1510	本	1	〃	4	0
タカノツメ	356	本	1	〃	4	0
ノグルミ	90	本	1	〃	4	0
ノグルミ	61	本	1	〃	4	0
ハネミイヌエンジ	25	本	1	〃	4	0
アオハダ	56	本	1	〃	4	0
アオハダ	25	本	1	〃	4	0
ウラジロノキ	481	本	1	〃	4	0
ウリカエデ	599	本	1	〃	4	0
カマツカ	1354	本	1	〃	4	0
ソヨゴ	966	本	1	〃	4	0
ネジキ	947	本	1	〃	4	0
ネズミモチ	72	本	1	〃	4	0
マルバアオダモ	562	本	1	〃	4	0
ヤブツバキ	342	本	1	〃	4	0
ヤブニッケイ	272	本	1	〃	4	0
ヤマハゼ	691	本	1	〃	4	0
ヤマボウシ	1510	本	1	〃	4	0
リョウブ	1523	本	1	〃	4	0
イヌツゲ	121	本	1	〃	4	0
イボタノキ	361	本	1	〃	4	0
カンサイスノキ	79	本	1	〃	4	0
ガンピ	190	本	1	〃	4	0
クロモジ	554	本	1	〃	4	0
コバノガマズミ	1785	本	1	〃	4	0
コバノミツバツツ	3375	本	1	〃	4	0
コマユミ	271	本	1	〃	4	0
ツクバネウツギ	831	本	1	〃	4	0
ナツハゼ	152	本	1	〃	4	0
ミヤマガマズミ	1911	本	1	〃	4	0
ムラサキシキブ	1050	本	1	〃	4	0
モチツツジ	1314	本	1	〃	4	0
ヤブムラサキ	349	本	1	〃	4	0
ヤマウグイスカク	128	本	1	〃	4	0
ヤマツツジ	539	本	1	〃	4	0

工事件名　　しあわせの森北側緑地植栽工事（その4）

実施年度：　　16 年度
公園名：　　しあわせの森
実施場所：　　兵庫県　神戸市
目的：　　1
概要：　　造成緑地において、現存植生や周辺の保存樹林等との連続性に配慮した植生再生をはかるため、地
緑化面積：　　5,800 ㎡

使用植物種

植物種名	数量	単位	導入形態	入手条件	調達方法	その他の方法
アカマツ	189	本	1	地域自生種または、神戸市周辺で採取されたもの	4	0
アベマキ	383	本	1	〃	4	0
アラカシ	12	本	1	〃	4	0
カスミザクラ	160	本	1	〃	4	0
コナラ	621	本	1	〃	4	0
タカノツメ	974	本	1	〃	4	0
アオハダ	40	本	1	〃	4	0
ウリカエデ	755	本	1	〃	4	0
カマツカ	508	本	1	〃	4	0
ソヨゴ	199	本	1	〃	4	0
ネズミモチ	12	本	1	〃	4	0
ヒサカキ	135	本	1	〃	4	0
マルバアオダモ	87	本	1	〃	4	0
ヤブツバキ	68	本	1	〃	4	0
ヤブニッケイ	190	本	1	〃	4	0
ヤマハゼ	572	本	1	〃	4	0
ヤマボウシ	488	本	1	〃	4	0
リョウブ	345	本	1	〃	4	0
イボタノキ	74	本	1	〃	4	0
クロモジ	213	本	1	〃	4	0
コバノガマズミ	353	本	1	〃	4	0
コバノミツバツツ	791	本	1	〃	4	0
コマユミ	191	本	1	〃	4	0
ツクバネウツギ	486	本	1	〃	4	0
ミヤマガマズミ	935	本	1	〃	4	0
ムラサキシキブ	555	本	1	〃	4	0
モチツツジ	429	本	1	〃	4	0
ヤブムラサキ	381	本	1	〃	4	0
ヤマウグイスカグ	37	本	1	〃	4	0
ヤマツツジ	171	本	1	〃	4	0

工事件名　　しあわせの森北側緑地植栽工事（その5）

実施年度：　16,17　　年度
公園名：　しあわせの森
実施場所：　兵庫県　神戸市
目的：　1
概要：　造成緑地において、現存植生や周辺の保存樹林等との連続性に配慮した植生再生をはかるため、地
緑化面積：　7,125 ㎡

使用植物種

植物種名	数量	単位	導入形態	入手条件	調達方法	その他の方法
アカマツ	526	本	1	地域自生種または、神戸市周辺で採取されたもの	4	0
アベマキ	594	本	1	〃	4	0
アラカシ	437	本	1	〃	4	0
カスミザクラ	312	本	1	〃	4	0
コナラ	756	本	1	〃	4	0
アオハダ	26	本	1	〃	4	0
ウリカエデ	468	本	1	〃	4	0
カマツカ	781	本	1	〃	4	0
ソヨゴ	505	本	1	〃	4	0
ネズミモチ	45	本	1	〃	4	0
ヒサカキ	8	本	1	〃	4	0
マルバアオダモ	349	本	1	〃	4	0
ヤブツバキ	442	本	1	〃	4	0
ヤブニッケイ	118	本	1	〃	4	0
ヤマハゼ	572	本	1	〃	4	0
ヤマボウシ	690	本	1	〃	4	0
リョウブ	874	本	1	〃	4	0
イボタノキ	213	本	1	〃	4	0
クロモジ	308	本	1	〃	4	0
コバノガマズミ	383	本	1	〃	4	0
コバノミツバツツ	1554	本	1	〃	4	0
コマユミ	148	本	1	〃	4	0
ミヤマガマズミ	805	本	1	〃	4	0
ムラサキシキブ	467	本	1	〃	4	0
モチツツジ	845	本	1	〃	4	0
ヤブムラサキ	239	本	1	〃	4	0
ヤマツツジ	11	本	1	〃	4	0

都道府県/地方整備局名　近畿地方整備局　国営飛鳥歴史公園事務所

工事件名　花修景検討業務

実施年度：　18 年度
公園名：　国営飛鳥歴史公園（祝戸地区）
実施場所：　奈良県　高市郡明日香村
目的：　2
概要：　国営飛鳥歴史公園において、野生の花木や草花による花修景を展開していくことを目的とし、本地域に近い三重県伊賀市産のコバノミツバツツジ及びヤマツツジの苗を購入し、植栽を行った。
緑化面積：　400 ㎡

使用植物種

植物種名	数量	単位	導入形態	入手条件	調達方法	その他の方法
コバノミツバツツ	50	株	1	奈良県内又はその近隣産のもの	4	0
ヤマツツジ	50	株	1	奈良県内又はその近隣産のもの	4	0

都道府県/地方整備局名　中国地方整備局　国営備北丘陵公園事務所

工事件名　みのりの里植栽（その5）工事

実施年度：　19 年度
公園名：　国営備北丘陵公園
実施場所：　広島県　庄原市
目的：　2
概要：　野生種による花修景を演出するエリアにおいてコオニユリによる植栽を行った。
緑化面積：　350 ㎡

使用植物種

植物種名	数量	単位	導入形態	入手条件	調達方法	その他の方法
コオニユリ	3160	球	1	広島県内から採取したもの	5	別途発注業務において採取

都道府県/地方整備局名　沖縄総合事務所 国営沖縄記念公園事務所

工事件名　首里城京の内整備（その1）工事

実施年度：　14 年度
公園名：　首里城公園
実施場所：　沖縄県　那覇市
目的：　1
概要：　首里城公園内において，城内最大の祭祀空間を復元するために緑化を行った。
緑化面積：　750 ㎡

使用植物種

植物種名	数量	単位	導入形態	入手条件	調達方法	その他の方法
ヤブニッケイ	4	本	3	なし	5	不明
ホルトノキ	6	本	3	なし	5	不明
ハマイヌビワ	3	本	3	なし	5	不明
アコウ	2	本	3	なし	5	不明
ガジュマル	1	本	3	なし	5	不明
ハゼノキ	1	本	3	なし	5	不明
リュウキュウガキ	1	本	3	なし	5	不明
モクタチバナ	1	本	3	なし	5	不明
ネズミモチ	1	本	3	なし	5	不明
コウトウヤマヒハ	2	株	3	なし	5	不明
ナガミボチョウジ	1	株	3	なし	5	不明
トベラ	1	株	3	なし	5	不明
ｴﾀﾞｳﾁﾁｼﾞﾐｻﾞｻ	746	㎡	3	なし	5	不明

工事件名　首里城京の内整備（その2）工事

実施年度：　14 年度
公園名：　首里城公園
実施場所：　沖縄県　那覇市
目的：　1
概要：　首里城公園内において，城内最大の祭祀空間を復元するために緑化を行った。
緑化面積：　2,550 ㎡

使用植物種

植物種名	数量	単位	導入形態	入手条件	調達方法	その他の方法
ヤブニッケイ	13	本	3	なし	5	不明
ホルトノキ	7	本	3	なし	5	不明
ハマイヌビワ	2	本	3	なし	5	不明
オオバギ	4	本	3	なし	5	不明
タブノキ	3	本	3	なし	5	不明
アカギ	2	本	3	なし	5	不明
ガジュマル	2	本	3	なし	5	不明
ハゼノキ	1	本	3	なし	5	不明
クスノハカエデ	1	本	3	なし	5	不明
クワノハエノキ	2	本	3	なし	5	不明
クスノハガシワ	2	本	3	なし	5	不明
イスノキ	2	本	3	なし	5	不明
イヌマキ	4	本	3	なし	5	不明
リュウキュウガキ	4	本	3	なし	5	不明
モクタチバナ	2	本	3	なし	5	不明
ネズミモチ	2	本	3	なし	5	不明
オオムラサキシキ	2	本	3	なし	5	不明
クチナシ	2	本	3	なし	5	不明
リュウキュウモク	1	本	3	なし	5	不明
ゲッキツ	1	本	3	なし	5	不明
コウトウヤマヒハ	2	株	3	なし	5	不明
ナガミボチョウジ	2	株	3	なし	5	不明
トベラ	2	株	3	なし	5	不明
フクマンギ	1	株	3	なし	5	不明
クロツグ	1	株	3	なし	5	不明
ｴﾀﾞｳﾁﾁｼﾞﾐｻﾞｻ	2544	㎡	3	なし	5	不明

工事件名　首里城京の内整備（その3）工事

実施年度：　14 年度
公園名：　首里城公園
実施場所：　沖縄県　那覇市
目的：　1
概要：　首里城公園内において，城内最大の祭祀空間を復元するために緑化を行った。
緑化面積：　810 ㎡

使用植物種

植物種名	数量	単位	導入形態	入手条件	調達方法	その他の方法
ヤブニッケイ	2	本	3	なし	5	不明
ホルトノキ	2	本	3	なし	5	不明
ハマイヌビワ	4	本	3	なし	5	不明
オオバギ	1	本	3	なし	5	不明
タブノキ	1	本	3	なし	5	不明
アカギ	1	本	3	なし	5	不明
ハゼノキ	1	本	3	なし	5	不明
クスノハカエデ	1	本	3	なし	5	不明
リュウキュウガキ	1	本	3	なし	5	不明
リュウキュウモク	2	本	3	なし	5	不明
ゲッキツ	1	本	3	なし	5	不明
オキナワシャリン	2	本	3	なし	5	不明
コウトウヤマヒハ	1	株	3	なし	5	不明
ナガミボチョウジ	1	株	3	なし	5	不明
フクマンギ	1	株	3	なし	5	不明
クロツグ	2	株	3	なし	5	不明
ｴﾀﾞｳﾁﾁｼﾞﾐｻﾞｻ	810	㎡	3	なし	5	不明

工事件名　首里城京の内整備（その4）工事

実施年度：　14 年度
公園名：　首里城公園
実施場所：　沖縄県　那覇市
目的：　1
概要：　首里城公園内において，城内最大の祭祀空間を復元するために緑化を行った。
緑化面積：　400 ㎡

使用植物種

植物種名	数量	単位	導入形態	入手条件	調達方法	その他の方法
ハマイヌビワ	2	本	3	なし	5	不明
オオバギ	2	本	3	なし	5	不明
タブノキ	1	本	3	なし	5	不明
クロツグ	2	本	3	なし	5	不明
ソテツ	7	本	3	なし	5	不明
ｴﾀﾞｳﾁﾁｼﾞﾐｻﾞｻ	395	㎡	3	なし	5	不明

工事件名　首里城京の内整備（その5）工事

実施年度：　14 年度
公園名：　首里城公園
実施場所：　沖縄県　那覇市
目的：　1
概要：　首里城公園内において，城内最大の祭祀空間を復元するために緑化を行った。
緑化面積：　320 ㎡

使用植物種

植物種名	数量	単位	導入形態	入手条件	調達方法	その他の方法
コウライシバ	313	㎡	3	なし	5	不明

工事件名　首里城京の内整備（その6）工事

実施年度：　14 年度
公園名：　首里城公園
実施場所：　沖縄県　那覇市
目的：　1
概要：　首里城公園内において，城内最大の祭祀空間を復元するために緑化を行った。
緑化面積：　530 ㎡

使用植物種

植物種名	数量	単位	導入形態	入手条件	調達方法	その他の方法
ヤブニッケイ	5	本	3	なし	5	不明
アコウ	2	本	3	なし	5	不明
アカギ	5	本	3	なし	5	不明
ガジュマル	1	本	3	なし	5	不明
クロヨナ	2	本	3	なし	5	不明
オオバギ	2	本	3	なし	5	不明
クロツグ	1	本	3	なし	5	不明
ソテツ	2	本	3	なし	5	不明
ｴﾀﾞｳﾁﾁｼﾞﾐｻﾞｻ	310	㎡	3	なし	5	不明
コウライシバ	420	㎡	3	なし	5	不明

工事件名　水の階段周辺整備(東工区)工事

実施年度：　16 年度
公園名：　海洋博公園
実施場所：　沖縄県　国頭郡本部町
目的：　2
概要：　海洋博公園内において、南国・沖縄にふさわしい樹木を選定し、緑化を行った。
緑化面積：　－　㎡

使用植物種

植物種名	数量	単位	導入形態	入手条件	調達方法	その他の方法
ソテツ	4	本	3	なし	4	0
モクビャッコウ	561	本	3	なし	4	0
モクビャッコウ	15	本	3	なし	4	0
オオタニワタリ	29	本	3	なし	4	0
クワズイモ	149	本	3	なし	4	0
ツワブキ	205	本	3	なし	4	0
タマシダ	839	本	3	なし	4	0
オキナワウラボシ	431	本	3	なし	4	0

工事件名　水の階段周辺整備(西工区)工事

実施年度：　16 年度
公園名：　海洋博公園
実施場所：　沖縄県　国頭郡本部町
目的：　2
概要：　海洋博公園内において、南国・沖縄にふさわしい樹木を選定し、緑化を行った。
緑化面積：　0 ㎡

使用植物種

植物種名	数量	単位	導入形態	入手条件	調達方法	その他の方法
ビロウ	22	本	3	なし	4	0
クロツグ	2	本	3	なし	4	0
ブッソウゲ	875	本	3	なし	4	0
アダン	285	本	3	なし	4	0
オオハマボウ	265	本	3	なし	4	0
モンパノキ（大）	1	本	3	なし	4	0
モンパノキ（小）	2	本	3	なし	4	0
ハリツルマキ	80	本	3	なし	4	0
シュロガヤツリ	20	株	3	なし	4	0
テリハクサトベラ	60	本	3	なし	4	0
モクビャッコウ	385	本	3	なし	4	0
オオタニワタリ	83	本	3	なし	4	0
クワズイモ	103	本	3	なし	4	0
ハマユウ	50	本	3	なし	4	0
タマシダ	380	本	3	なし	4	0
ツワブキ	243	本	3	なし	4	0
オキナワウラボシ	1685	本	3	なし	4	0
ヒメイタビ	331	本	3	なし	4	0
カミガヤツリ	81	株	3	なし	4	0

工事件名　園内保全工事

実施年度：　17 年度
公園名：　海洋博公園
実施場所：　沖縄県　本部町
目的：　2
概要：　海洋博公園内において、南国・沖縄にふさわしい樹木を選定し、緑化を行った。
緑化面積：　－　㎡

使用植物種

植物種名	数量	単位	導入形態	入手条件	調達方法	その他の方法
フクギ	13	本	3	県内産	4	0
ツワブキ	288	株	3	県内産	4	0
モクビャッコウ	465	本	3	県内産	4	0
ソテツ	12	本	3	県内産	4	0

工事件名　平成17年度　園路改修その1工事

実施年度：　17 年度
公園名：　海洋博公園
実施場所：　沖縄県　本部町
目的：　2
概要：　海洋博公園内において、南国・沖縄にふさわしい樹木を選定し、緑化を行った。
緑化面積：　0 ㎡

使用植物種

植物種名	数量	単位	導入形態	入手条件	調達方法	その他の方法
フクギ	7	本	3	なし	4	0
シマヤマヒハツ	40	本	3	なし	4	0
オキナワシャリン	171	本	3	なし	4	0

工事件名　平成17年度　園路改修その2工事

実施年度：　17 年度
公園名：　海洋博公園
実施場所：　沖縄県　本部町
目的：　2
概要：　海洋博公園内において、南国・沖縄にふさわしい樹木を選定し、緑化を行った。
緑化面積：　0 ㎡

使用植物種

植物種名	数量	単位	導入形態	入手条件	調達方法	その他の方法
ブッソウゲ	228	本	3	なし	4	0

工事件名　平成18年度　園内改良その6工事

実施年度：　18 年度
公園名：　海洋博公園
実施場所：　沖縄県　本部町
目的：　2
概要：　海洋博公園内において、南国・沖縄にふさわしい樹木を選定し、緑化を行った。
緑化面積：　0 ㎡

使用植物種

植物種名	数量	単位	導入形態	入手条件	調達方法	その他の方法
ブッソウゲ	431	本	3	なし	4	0
ツワブキ	120	本	3	なし	4	0

B 地域性緑化植物の使用に関する今後の予定及び調達上の問題点・要望［都道府県・政令市］

	都道府県 政令市名	①地域性緑化植物の使用に関する今後の予定		②地域性緑化植物の調達上の問題点							③地域性緑化植物の供給・調達に係る要望（自由記入）
		番号	具体的な内容（1を回答した場合）	1：生産情報が不明	2：発芽や活着に不安	3：高コスト	4：遺伝情報が不明	5：数量が十分に確保できない	6：その他	その他の問題点	
1	北海道	2					○				地域性緑化植物として流通する植物には当該地域固有の遺伝情報を有しているか否かわかる生産情報を付与して欲し
2	青森県	なし									
3	岩手県	2		○	○						
4	宮城県	4	現在，植栽必要箇所は完了している。今後，計画の公園については，設計段階で検討したい。	○	○		○				地域性緑化植物として流通する植物には産地等がわかる生産情報を付与して欲しい。
5	秋田県	なし									
6	山形県	4	特に地域性緑化植物ということではなく、景観上、維持管理上の観点のみでの植栽検討であったため、今後も未定である。								
7	福島県	2		○	○	○			○	気候や流通の問題により、地域に生産者が少ない。 また、生産者が居ても小	
8	茨城県	2		○	○		○				
9	栃木県	なし									
10	群馬県	1	現在整備中の多々良沼公園において、沼に従来からある植生を回復する予定								
11	埼玉県	1	まつぶし緑の丘公園では、今後来年度から平成27年度までに地域性緑化植物を中心としたの苗木を約16,200本使用予定。	○			○				地域性緑化植物の生産情報がわかるシステムが必要
12	千葉県	4							○	地域性緑化植物の導入については、特に検討していない。	
13	東京都	2		○			○	○			
14	神奈川県	3									
15	新潟県	2		○			○	○	○	品種改良されたものをどこまで地域性緑化植物とするのか線引きが困難	
16	富山県	2									
17	石川県										
18	福井県	3		○			○				
19	山梨県	3					○				
20	長野県	なし									
21	岐阜県	なし					○				
22	静岡県	なし									
23	愛知県	1	平成19年度より公園内でドングリの採取、育成を行っており、今後は苗木の生長の状況を見ながら植えていく。	○							苗木調達に際し、現地での種子採取から苗木を育成する場合に係る業務委託費も、補助事業の対象として欲しい。
24	三重県	1	平成20年度整備予定。樹種については、地元と今後調整する。	○							地域ごとの流通状況の情報を付与してほしい。 地元要望にできるだけ添うよう、樹種を選定する予定であるが、生産情報が不足している。（可否の判断が困難）
		3									
25	滋賀県	1	現在整備中のびわこ地球市民の森および湖岸緑地で積極的に使用したいが、供給の目処が全く立っていない状況である。	○		○		○			
26	京都府	1				○	○	○		植栽樹木を選択する際に樹種から検索をかけるのではなく地域の生産情報から樹種選択をできる検索システムがあると便利だが、見当たらない。	左記

B 地域性緑化植物の使用に関する今後の予定及び調達上の問題点・要望【都道府県・政令市】

	都道府県政令市名	①地域性緑化植物の使用に関する今後の予定		②地域性緑化植物の調達上の問題点							③地域性緑化植物の供給・調達に係る要望（自由記入）
		番号	具体的な内容（1を回答した場合）	1：生産情報が不明	2：発芽や活着に不安	3：高コスト	4：遺伝情報が不明	5：数量が十分に確保できない	6：その他	その他の問題点	
28	兵庫県	4	（H18～H31の間に、尼崎の森中央緑地において約20万本の地域性緑化植物を植栽予定。そのうち半数はボランティア生産、残る半数を業者委託生産で計画しているが、能力的に不足する場合は市場調達を併用することとなる見込み。）	○		○	○	○	○	・現状では、生産者が少ない。 現状の予算執行の中では、3年先の買い取り予約が困難なため、生産者にとってはリスクを伴うことが最大の課題である。 ・地域性植物の供給種類や量が明らかであれば使用できるが、現段階では、苗木であっても生産しているところはほとんどなく、成木を使用することが多い公園整備では、生産地を指定することは難しい。	・地域性緑化植物として流通する植物には産地等がわかる生産情報を付与して欲しい。
29	奈良県	3		○			○				
30	和歌山県	4	和歌山県では近年植栽工事は実施しておりませんので、今後検討していきます。（寄贈により植樹等は実施しております。）						○	現状について、把握しておりません。	特にありません。
31	鳥取県	4					○				
32	島根県	4				○					
33	岡山県	4							○	岡山地区では生産されていないと聞いている	地域性緑化植物を生産してほしいし、また、流通する植物には産地等がわかる生産情報を付与して欲しい。
34	広島県	1	導入したい樹木（県内で自生している樹種の展示目的）で県内（自生地）から入手可能であれば検討したい。				○	○	○	遺伝子レベルでの違い等での見分け方などの専門書（解説書）があれば、分かりやすい	樹種毎に地域性の優位や分布が異なり、全樹種を対象に行うのは難しいような感じがする。まずは、対象樹種を絞り、取り組んでいくのも一つの方法のような感じがする。
35	山口県	4		○							
36	徳島県	3		○							特になし。
37	香川県	3		○		○					
38	愛媛県	3		○		○	○				
40	福岡県	3									
41	佐賀県	1	佐賀城公園では、今後の緑化整備に係る樹木において、後継木を地域ボランティア活動により育て、植栽していく試みがあり、、地域性緑化植物を優先的に育生させた					○			
42	長崎県	4		○	○						
43	熊本県	なし									
45	宮崎県	なし									
46	鹿児島県	なし									
48	札幌市	なし									
49	仙台市	1	-	○			○				
50	さいたま市	なし									
51	千葉市	4	今後の個別事業内容に応じ、その都度「使用」「不使用」を検討予定（都川総合親水公園では、コナラ、イヌシデ、シラカシ等を中心とした地域性植物の苗木を活用予定）	○		○	○				
53	横浜市	なし									
54	川崎市	なし									
55	新潟市	2									
56	静岡市	3									
57	浜松市	1	浜松市内には、浜北地区という古くからの植木の産地があり、今後の植栽工事においても浜北産の樹木を積極的に使用する予定。			○		○			なし
58	名古屋市	2	今後地域の植物を中心に体験学習が可能な施設を考えている。 地域で絶滅が危惧される周伊勢湾要素植物群について収集展示	○	○						地域の絶滅危惧植物で栽培管理の方法を試行錯誤の状態であり今後調査研究の必要がある。
59	京都市	4		○			○				
60	大阪市	3		○							特に無し
61	堺市	3		○							特になし
62	神戸市	1		○			○	○			特になし
63	広島市	3									
64	北九州市	4					○	○			

B 地域性緑化植物の使用に関する今後の予定及び調達上の問題点・要望【国営公園】

	地方整備局名	国営公園事務所名	①地域性緑化植物の使用に関する今後の予定		②地域性緑化植物の調達上の問題点							③地域性緑化植物の供給・調達に係る要望（自由記入）
			番号	具体的な内容（1を回答した場合）	1：生産情報が不明	2：発芽や活着に不安	3：高コスト	4：遺伝情報が不明	5：数量が十分に確保できない	6：その他	その他の問題点	
2	東北地方整備局	国営みちのく杜の湖畔公園事務所	1	今後整備するII期地区の「みちのく自然共生園」では以下の地域性緑化植物を使用予定 ・樹木(ヤマブキ・オオヤマザクラ等約30種)約7,000本 ・草花(サクラソウ・コバギボウシ等約70種)約100,000株 ・種子等の吹付(ヤマハギ・チガヤ等　4種)約12ha	○							
4	北陸地方整備局	国営越後丘陵公園事務所	3		○							特になし
5	中部地方整備局	国営木曽三川公園木曽川下流河川事務所	3		○			○				地域性緑化植物として供給可能な植物の樹種・規格・数量等の情報が公開され、尚、リアルタイムに修正されるシステムを構築して頂きたい。
		国営木曽三川公園木曽川上流河川事務所	3		○			○				
6	近畿地方整備局	国営飛鳥歴史公園事務所	1	H17～H19年度において検討・策定した花修景計画に基づいて、国営飛鳥歴史公園においては、ヤマザクラ・コバノミツバツツジ等の花木やタチツボスミレ・ホタルブクロ・ササユリ等の草花による地域性種苗を用いた修景を行っていく予定。		○	○		○			・特になし
		国営明石海峡公園事務所	4									・特になし
		淀川河川公園事務所	1	・具体的に今後の使用予定数量はなし。 ・河川事業により淀川の自然環境再生の動向を踏まえつつ、河川特有の植生に向けた取り組みを推進する所存である。	○			○				・例えば、地域性緑化植物を供給できる業者等の情報など情報共有できる体制の構築を望む。
7	中国地方整備局	国営備北丘	1	今後、地域性野生草花を植栽する予定。数量未定					○			
8	四国地方整備局	国営讃岐まんのう公園事務所	3		○							
10	沖縄総合事務局	国営沖縄記念公園事務所	2	※参考［海洋博覧会地区］ 園路及び施設改修に伴い修景が必要となった箇所に積極的に使用				○				
			2	※参考［首里城地区］ 琉球庭園の復元に植栽を予定している	○	○	○		○		流通していない地域性緑化植物の入手が困難である。	地域性緑化植物として流通する植物には産地等がわかる生産情報を付与して欲しい。また、流通していない植物については生息地の情報を付与してほしい。